

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会 御中

# 令和5年度 自動車点検整備推進運動 調査結果ご報告書

2024.02.26(月)



株式会社ADKクリエイティブ・ワン

©2023 ADK Creative One Inc, All Rights Reserved.

報告書目次

<b>1</b>	<b>調査概要</b>	.....	<b>P.03 – P.04</b>
<b>2</b>	<b>調査票</b>	.....	<b>P.05 – P.16</b>
<b>3</b>	<b>調査結果</b>	.....	<b>P.17 – P.53</b>
<b>4</b>	<b>調査結果サマリー</b>	.....	<b>P.54 – P.58</b>

# 1 調査概要

調査対象者

18～69歳男女

普通自動車運転免許を保有しており、自動車を保有している。かつ週に1日以上運転する方。

※より日常的に自動車の運転をしている方をターゲットに絞り込むため、協議の後設定

調査企画

事前調査 | 2023年8月28日（月）～2023年8月30日（水）

事後調査 | 2023年12月11日（月）～2023年12月13日（水）

調査方法

LINEアンケート

有効回答数

総計 2,000サンプル（事前調査 1,000サンプル / 事後調査 1,000サンプル）

調査会社

株式会社 モニタス

SC調査

SC調査サンプル数 6,000サンプル（事前調査・事後調査共通）

## 2 調査票

**調査対象者** 年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

**本調査条件** 自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

P1 Q1 あなたの性別をお答えください。 ラジオSA 一般 必須

1 男性

2 女性

P2 Q2 あなたの年齢をお答えください。 テキストFA 必須

数字で入力してください

文字タイプ = 半角数字 数値上限 = 150 数値下限 = 0 設置テキスト = off / on 必須 = 全項目

※18～69歳以外は終了

P3 Q3 あなたがお住いの都道府県をお答えください。 ラジオSA 一般 必須

1 北海道

2 青森県

3 岩手県

4 宮城県

5 秋田県

6 山形県

7 福島県

8 茨城県

9 栃木県

10 群馬県

11 埼玉県

12 千葉県

13 東京都

14 神奈川県

以降、全47都道府県の選択が続く

P4 Q4 あなたが現在保有している「自動車免許」を下記の中から全チェックMA 一般 必須

※第一種・第二種・AT限定などの区分は全て含めてお答えください。※過去保有していて、現在は保有していないものは除いてお答えください。

1 大型自動車免許

2 中型自動車免許

3 準中型自動車免許

4 普通自動車免許

5 大型特殊自動車免許

6 大型自動二輪車免許

7 普通自動二輪車免許

8 小型特殊自動車免許

9 原動機付自転車免許

10 その他

11 自動車免許は保有していない

普通自動車を運転可能な免許を対象としております。

その他 = その他 該当なし = 自動車免許は保有していない

P5 Q5 あなたが現在保有している「自動車」の普段の運転頻度をお知らせください。 ラジオSA 一般 必須

※ご自身もしくは世帯で保有されている自動車、勤務先で利用する自動車に限ってお答えください。

※レンタカー・カーシェアリングは除いてお答えください。

1 週5日以上

2 週3～4日

3 週1～2日

4 月2～3日

5 月1日程度

6 2～3か月に1日

7 半年に1日

8 1年に1日以下

9 運転は全くしない・自動車保有していない

週1日以上、自身もしくは世帯で保有している自動車を運転する方を対象としております。

**調査対象者** 年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

**本調査条件** 自動車免許保有※普通自動車を運転可能なもの限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

P1 Q1 あなたは自動車ユーザーが、「車検」の他に法律で自動車の点検・整備による適正な状態の保持が義務付けられていることをご存知でしたか。 ラジオSA 一般 必須

1 知っていた

2 知らなかった

P2 Q2 法律で走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期（洗車・給油時、長距離走行前）に「日常点検整備」の実施が義務付けられていることをご存知でしたか。 ラジオSA 一般 必須

1 知っていた

2 知らなかった

P3 Q3 あなたは「日常点検」を実施していますか。 ラジオSA 一般 必須

1 乗る前にする

2 時々する

3 全くしない

表示条件 ((P2=1))

P4 Q4 あなたが、「日常点検」を実施しない理由を教えてください。 チェックMA 一般 必須

1 面倒だから

2 車の性能がよく、トラブルが起きないと思うから

3 知識がないから

4 新車を購入したばかりだから

5 定期点検をしているから

6 車検を受けたばかりだから

7 その他

その他 = その他

表示条件 ((P3=3))

P5 Q5 あなたは自動車ユーザーが、法律で一定期間毎（自家用乗用車は1年毎）に「定期点検整備」の実施が義務付けられていることをご存知でしたか。 ラジオSA 一般 必須

1 知っていた

2 知らなかった

P6 Q6 あなたは整備工場等で「定期点検整備（一定期間ごとの点検）」を実施していますか。 ラジオSA 一般 必須

1 必ず実施（自家用乗用車は1年ごと）している

2 車検の時（自家用乗用車は2年に1回）に実施している

3 全く実施していない

表示条件 ((P5=1))

P7 Q7 あなたが、「定期点検整備」を必ずしも実施しない理由を教えてください。 チェックMA 一般 必須

1 面倒だから

2 日常点検をしっかりとっているから

3 新車を購入したばかりだから

4 時間がないから

5 お金がかかるから

6 車検を受けているから

7 その他

その他 = その他

表示条件 ((P6=2-3))

※Q6/Q7：前年比較表追加

**調査対象者** 年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

**本調査条件** 自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

P8 Q8 車検のとき以外の「定期点検整備」では、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料が、かからないことをご存知でしたか。 ラジオSA 一般 必須

1 知っていた  
 2 知らなかった

表示条件 ( (P5=1) )

P9 Q9 令和3年10月1日より「車載式故障診断装置 (OBD)」が搭載された自動車は、「OBD点検」が12カ月ごとの定期点検の対象になったことをご存じでしたか。 ラジオSA 一般 必須

1 知っていた  
 2 知らなかった

P11 Q11 定期点検が確実に実施されるためには、どのような対策が必要と考えますか。 チェックMA 一般 必須

1 定期点検をしなかったときのペナルティーを設ける  
 2 気軽に参加できるイベント、点検教室をもっと開催する  
 3 定期点検の必要性を積極的に啓発する  
 4 整備工場から定期点検時の点検費用と作業内容を案内する  
 5 整備工場から定期点検時期の案内する  
 6 その他

その他 = その他

P12 Q12 最近1年間に、車を運転していて、次のようなトラブルを経験したことがありますか。 チェックMA 一般 必須

1 タイヤのパンク・バースト  
 2 ランプ類の故障  
 3 バッテリー上がり  
 4 エンジンの焼き付き  
 5 オーバーヒート  
 6 ブレーキ不良  
 7 ベルト切れ  
 8 その他  
 9 特にトラブルは経験していない

その他 = その他 該当なし = 特にトラブルは経験していない

※排他（他の選択肢と同時選択不可）

本調査（事前調査）割付表

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
男性	100	100	100	100	100
女性	100	100	100	100	100

調査対象者

年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

本調査条件

自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに関り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

Q1 必須

あなたは自動車ユーザーが、「重検」の他に法律で自動車の点検・整備による適正な状態の保持が義務付けられていることをご存知でしたか。  
ひとつだけ

- 知っていた
- 知らなかった

Q2 必須

法律で走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期（洗車・給油時、長距離走行前）に「日常点検整備」の実施が義務付けられていることをご存知でしたか。  
ひとつだけ

- 知っていた
- 知らなかった

Q3 必須

あなたは「日常点検」を実施していますか。  
ひとつだけ

- 乗る前にする
- 時々する
- 全くしない

Q4 必須

『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』をする頻度はどのくらいですか。  
ひとつだけ

- 1～3日に1回
- 1週間に1回
- 10日に1回
- 2週間に1回
- 3週間に1回
- 1か月に1回
- それ以下

Q5 必須

『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』はどのような時に行っていますか。  
いくつでも

- ふだん運転する前
- ガソリンスタンドで給油するとき
- 洗車するとき
- 旅行など長距離ドライブ前
- 高速道路を利用する直前
- その他

Q6 必須

あなたが自分自身でやっている『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』をお答えください。  
いくつでも

<エンジンルーム点検>

- ブレーキ液のリザーバ・タンクの液量を点検する
- ラジエーターのリザーバ・タンクの冷却水の量を点検する
- オイル・レベル・ゲージでエンジン・オイルの量を点検する
- バッテリーの液量を点検する
- ウィンド・ウォッシャー液量を点検する

<外回りの点検>

- ランプの点灯状態、レンズの汚れや損傷の点検
- タイヤの空気圧、エア・ゲージがないときの接地部のたわみの点検
- タイヤの亀裂や損傷、摩耗の点検
- タイヤの溝の深さを点検する

<運転席の点検>

- ブレーキを踏み、ブレーキのききが十分であることを確認する
- 駐車ブレーキ・レバーをいっばいに引いて、引きしるを確認する
- エンジンのかかり具合、異音がないか点検する
- アイドリング時、加速時にスムーズに回転するのを点検
- ウィンド・ウォッシャーの照射状態を確認する
- ワイパーの拭き取り状態を確認する
- その他

調査対象者 年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

本調査条件 自動車免許保有※普通自動車を運転可能なもの限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

**Q7** 必答  
あなたが、「日常点検」を実施しない理由を教えてください。  
いくつでも

- 面倒だから
- 車の性能がよく、トラブルが起きないと思うから
- 知識がないから
- 新車を購入したばかりだから
- 定期点検をしているから
- 車検を受けただけだから
- その他

**Q8** 必答  
あなたは自動車ユーザーが、法律で一定期間毎（自家用乗用車は1年毎）に「定期点検整備」の実施が義務付けられていることをご存知でしたか。  
ひとつだけ

- 知っていた
- 知らなかった

**Q9** 必答  
あなたは整備工場等で「定期点検整備（一定期間ごとの点検）」を実施していますか。  
ひとつだけ

- 必ず実施（自家用乗用車は1年ごと）している
- 車検の時（自家用乗用車は2年に1回）に実施している
- 全く実施していない

**Q10** 必答  
あなたが、「定期点検整備」を必ずしも実施しない理由を教えてください。  
いくつでも

- 面倒だから
- 日常点検をしっかりしているから
- 新車を購入したばかりだから
- 時間がいないから
- お金がかかるから
- 車検を受けているから
- その他

**Q11** 必答  
車検のとき以外の「定期点検整備」では、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料が、かからないことをご存知でしたか。  
ひとつだけ

- 知っていた
- 知らなかった

**Q12** 必答  
令和3年10月1日より「重載式故障診断装置（OBD）」が搭載された自動車は、「OBD点検」が12カ月ごとの定期点検の対象になったことをご存知でしたか。  
ひとつだけ

- 知っていた
- 知らなかった

**Q13** 必答  
「自動車重点整備推進運動」をご存知でしたか。  
ひとつだけ

- 知っていた
- 聞いたことはあった
- 知らなかった

**Q14** 必答  
「自動車重点整備推進運動」を何で知りましたか。  
いくつでも

- 新聞
- テレビ
- ラジオ
- 雑誌
- ポスター・チラシ
- インターネットを利用
- 友人・知人から聞いて
- その他
- おぼえていない

調査対象者

年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

本調査条件

自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

Q15 [必須]

定期点検が確実に実施されるためには、どのような対策が必要と考えますか。  
いくつでも

- 定期点検をしなかったときのペナルティーを設ける
- 気軽に参加できるイベント、点検教室をもっと開催する
- 定期点検の必要性を積極的に啓発する
- 整備工場から定期点検時の点検費用と作業内容を案内する
- 整備工場から定期点検時期の案内する
- その他

Q16 [必須]

最近1年間に、車を運転していて、次のようなトラブルを経験したことがありますか。  
いくつでも

- タイヤのパンク・バースト
- ランプ類の故障
- バッテリー上がり
- エンジンの焼き付き
- オーバーヒート
- ブレーキ不良
- ベルト切れ
- その他
- 特にトラブルは経験していない

調査対象者

年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

本調査条件

自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

Q17 必須

あなたは以下の点検整備についてのコンテンツをご存じですか。見たことがあるものを全てお選びください。  
いくつでも



アハ点検動画 (間違い探し映像) / YouTube版



アハ点検動画 (間違い探し映像) / WEBサイト版



日常点検解説動画



定期点検解説動画



点検チェックシート



点検チェックコンテンツ



点検チェックコンテンツ\_Twitter運動キャンペーン



点検間違い探しコンテンツ



ポスター



かわって、わかる! クルマと点検WEBサイト (令和5年度 自動車点検整備推進運動)

知っていたものはない

調査対象者 | 年齢 | 18～69歳男女 | 地域 | 全国

本調査条件 | 自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

Q18 必須

以下の点検整備についてのコンテンツをご存じの方にお伺いします。実際に「間違い探し」をやってみたものを全てお選びください。いくつでも



アハ点検動画（間違い探し映像）/ YouTube版



アハ点検動画（間違い探し映像）/ WEBサイト版



日常点検解説動画



定期点検解説動画



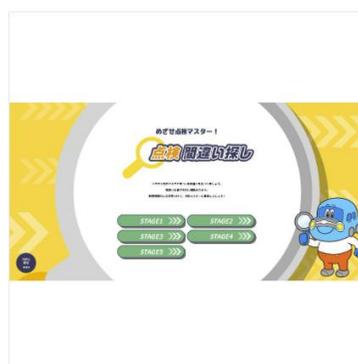
点検チェックシート



点検チェックコンテンツ



点検チェックコンテンツ\_Twitter運動キャンペーン



点検間違い探しコンテンツ



ポスター



かわって、わかる！クルマと点検WEBサイト（令和5年度 自動車点検整備推進運動）

実際にやってみたものはない

調査対象者 年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

本調査条件 自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

Q19 必須

あなたは先ほどの点検整備についてのコンテンツをどこから知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。

いくつでも

- YouTube
- LINE
- WEB上の検索結果
- Twitter
- WEB上のバナー広告
- その他SNS
- 家族・知人の話
- 新聞広告
- サービスエリアの掲示・ポスター
- 公式WEBサイト
- TikTok
- その他
- 覚えていない・わからない

調査対象者 | 年齢 | 18～69歳男女 | 地域 | 全国

本調査条件 | 自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに限り、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

Q20 必須

それぞれの点検整備についてのコンテンツをご覧になって、「点検の必要性」が理解できたと思うものをお選びください。  
いくつでも



アハ点検動画 (間違い探し映像) / YouTube版



アハ点検動画 (間違い探し映像) / WEBサイト版



日常点検|解説動画



定期点検|解説動画



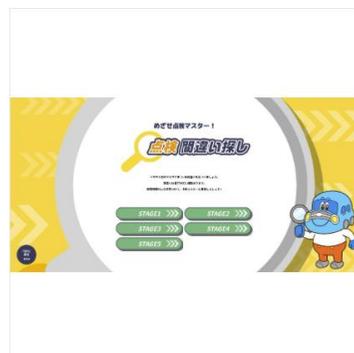
点検チェックシート



点検チェックコンテンツ



点検チェックコンテンツ\_Twitter運動キャンペーン



点検間違い探しコンテンツ



ポスター



かわって、わかる!クルマと点検WEBサイト (令和5年度自動車点検整備推進運動)

実際にやってみたものはない

調査対象者 年齢 | 18～69歳男女 地域 | 全国

本調査条件 自動車免許保有※普通自動車を運転可能なものに限る、自身もしくは世帯で普通四輪車を保有しており、週1日以上運転する

**Q21** 必須  
あなたは先ほどの点検整備についてのコンテンツをご覧になって感じたことで、あてはまるものを全てお選びください。  
いくつでも

-----

点検の重要性を理解できなかった

内容が分かりにくかった

内容がおもしろくない

遊びがおもしろくなかった

登場するキャラクターが好きではない

内容を理解するまでに時間がかかる

特典・もらえるものが魅力的ではない

大切なことを学ぶには遊びの要素が強すぎる

-----

点検の重要性を理解することができた

内容が分かりやすかった

内容がおもしろかった

実際に遊ぶことができ楽しかった

登場するキャラクターが好き

短い時間で内容が理解できる

特典・もらえるものが魅力的

遊び感覚で、大切なことを学べるのが良い

-----

その他

特になし

**Q22** 必須  
あなたは以下のキャラクター（カー坊）を知っていましたか。あてはまるものをお選びください。  
ひとつだけ



- 知っている
- 見たことがある気がする
- 知らない

本調査（事後調査）割付表

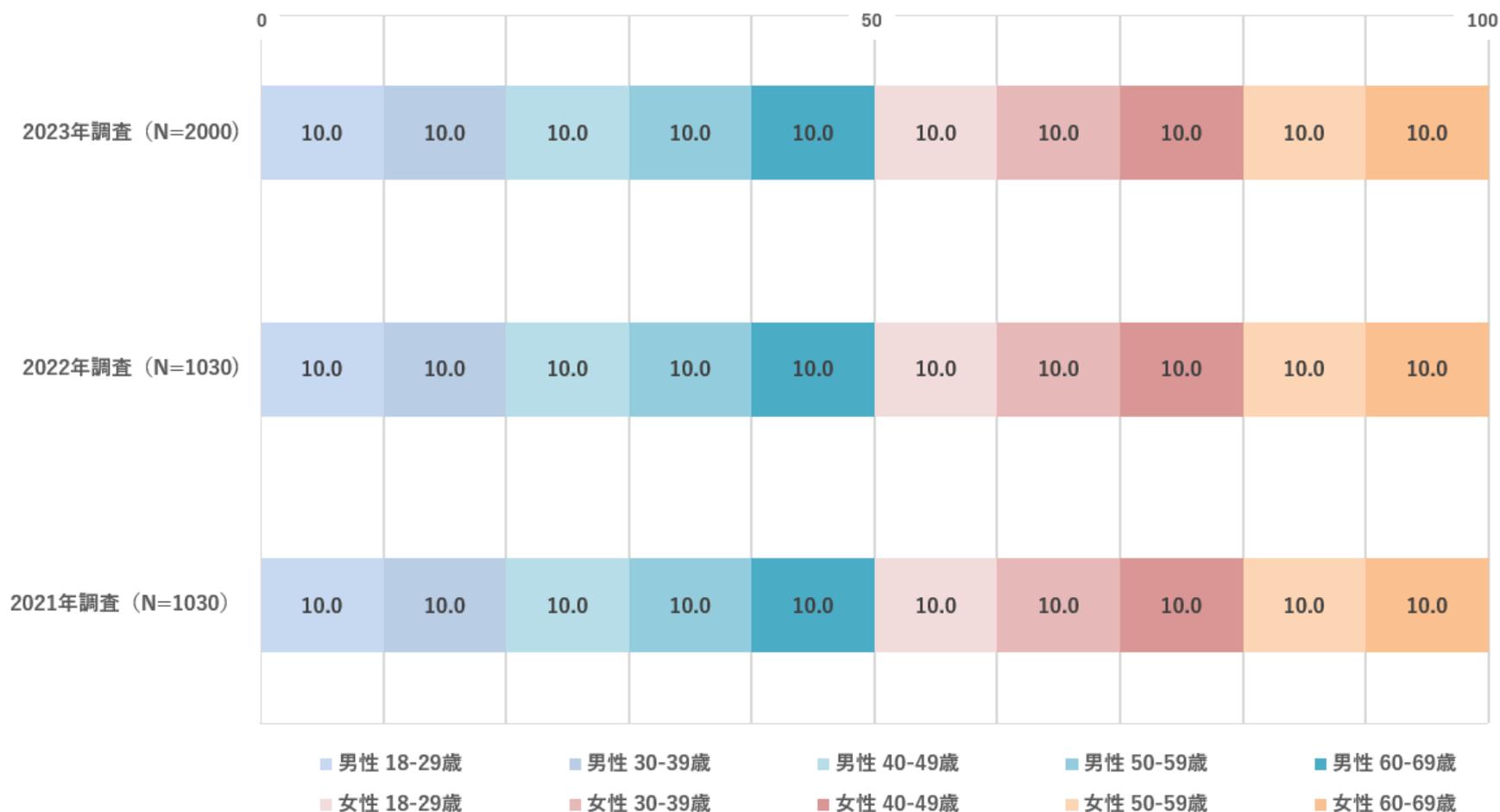
※事前とは別の人々へ調査

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
男性	100	100	100	100	100
女性	100	100	100	100	100

# 3 調査結果

**ポイント** 事前調査・事後調査共に、各年代性別等を例年通りの同一条件にて実施。

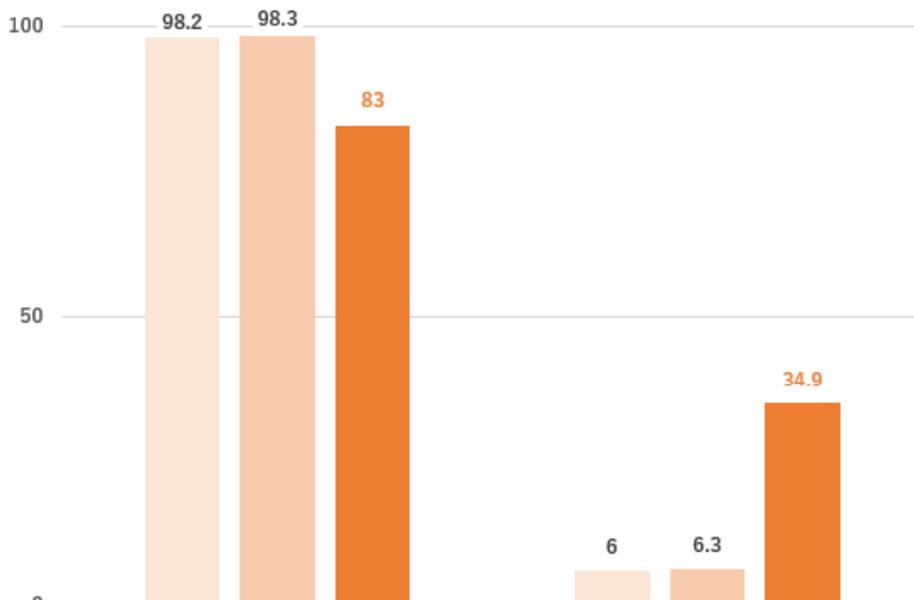
## 性×年代グループ (SA)



**ポイント①** <所有自動車の種類> 2023年は「普通自動車免許」のみの集計としているが、全体で見れば大きな傾向はみられない。

**ポイント②** <所有自動車の種類> 二輪自動車については全4種を合計して集計しているが、全体で見れば大きな傾向はみられない。

### 所有自動車の種類 (MA)



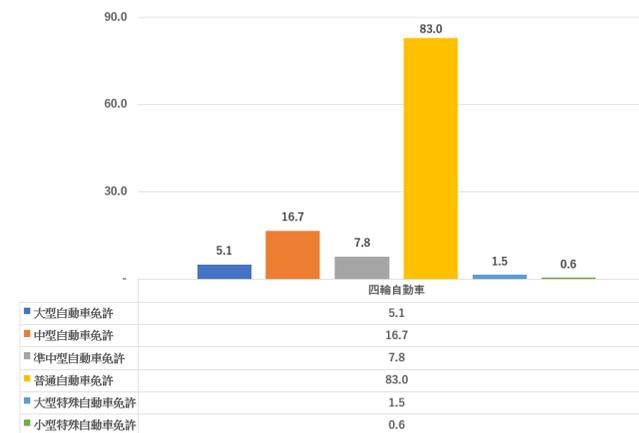
- 2021年調査 (N=1030)
- 2022年調査 (N=1030)
- 2023年調査 (N=2000)

	四輪自動車	二輪自動車 (車検あり)
2021年調査 (N=1030)	98.2	6
2022年調査 (N=1030)	98.3	6.3
2023年調査 (N=2000)	83	34.9

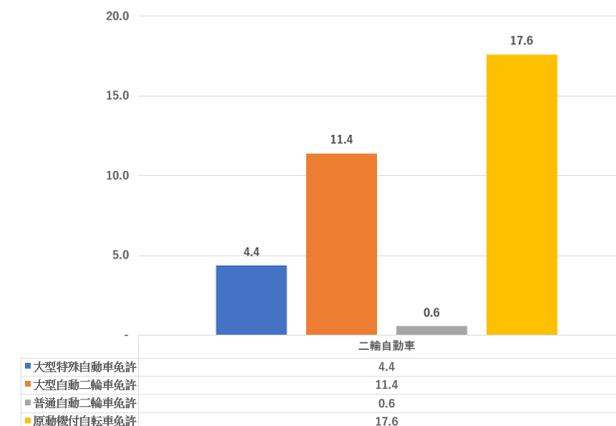
※四輪自動車は「普通自動車免許」のみ算出の値

※二輪自動車は右図記載の全てを算出の値

### 四輪自動車 / 所有内訳 (MA)

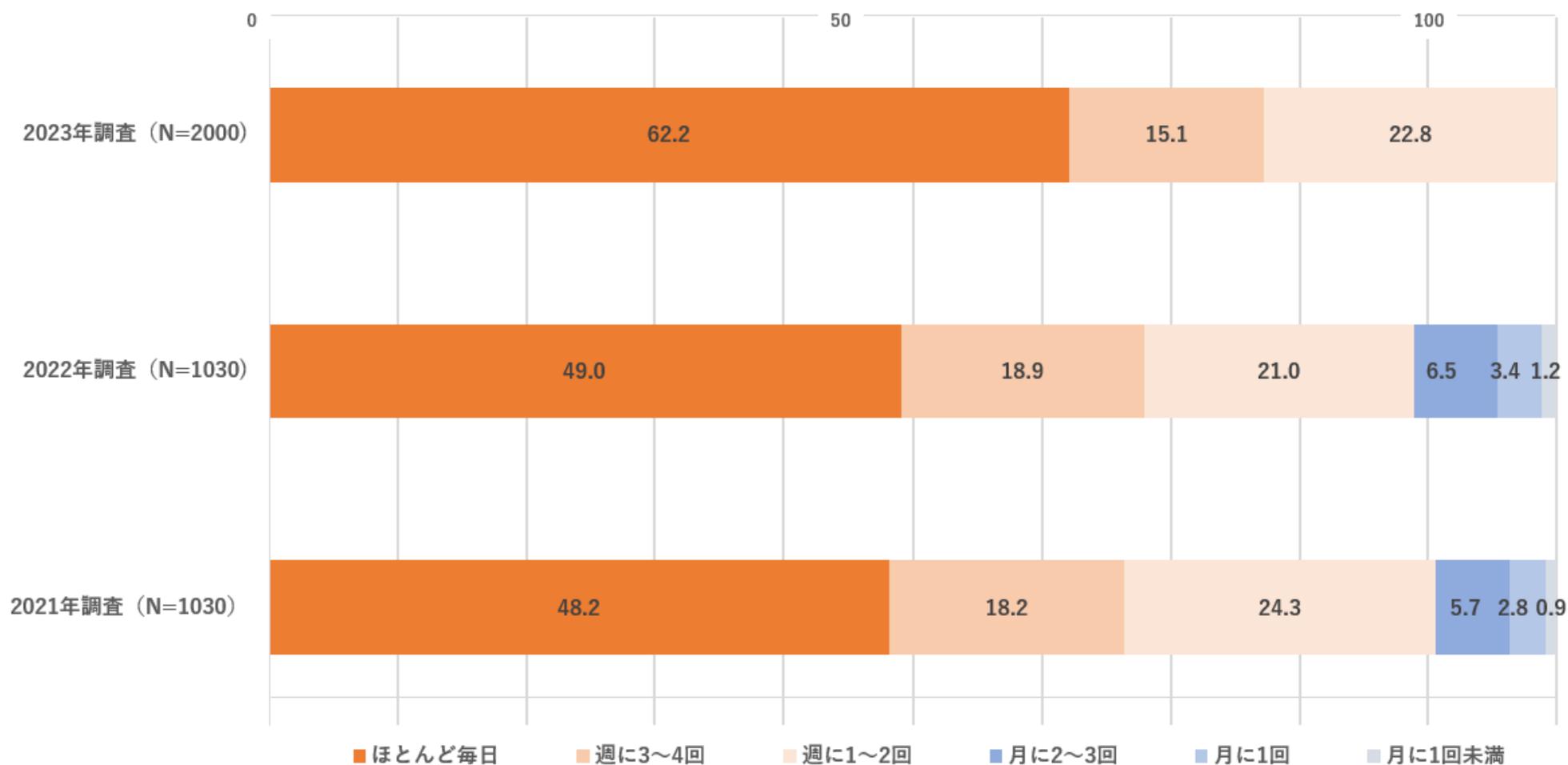


### 二輪自動車 / 所有内訳 (MA)



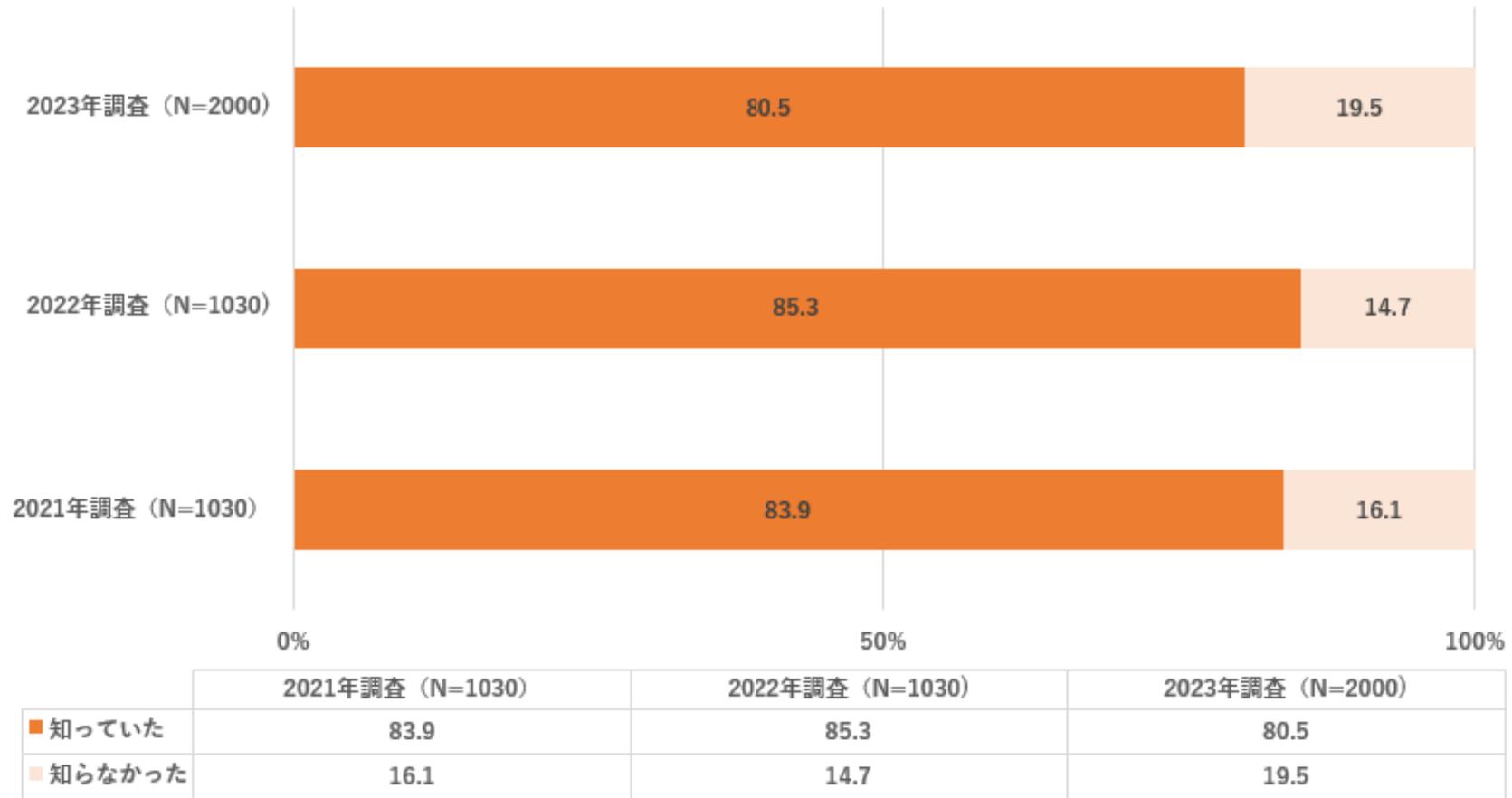
**ポイント** 2023年の調査において、昨年度までの調査対象である青部分についてはSC調査で排除しているため、週に1~2回以上自動車に乗る頻度のあるユーザーに対して調査を行った。  
以降データに関しては、より自動車を利用する人の意識データとなっている。

## 自動車運転頻度



**ポイント** 「法律で点検・整備による適正な状態の保持が義務付けられている」ことの認知は80.5%が「知っていた」と回答。  
 昨年度より4.8%微減している。

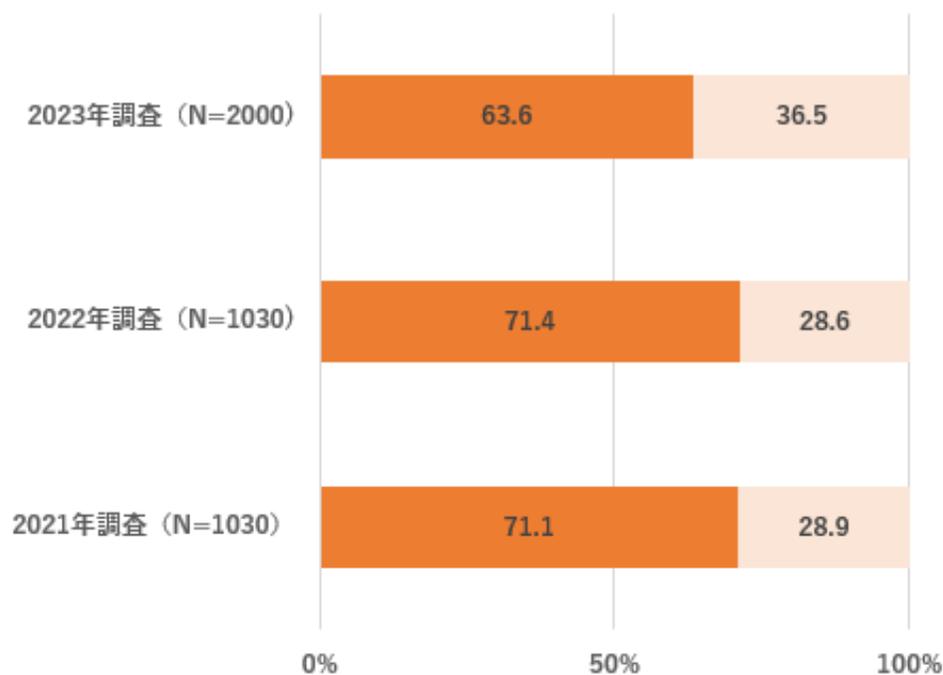
Q1 自動車ユーザーは、「車検」の他に法律で自動車の点検・整備による適正な状態の保持が義務付けられていることをご存じでしたか。(SA)



**ポイント①** 「日常点検整備の実施が義務付けられている」ことを「知っていた」と回答したのは63.6%。昨年度より7.8%減少傾向。

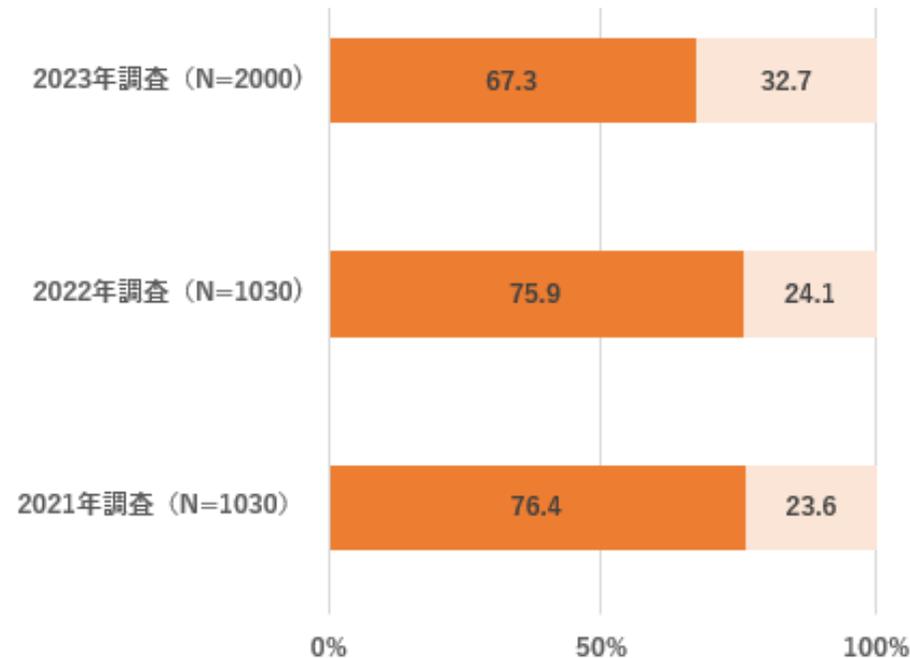
**ポイント②** 「定期点検整備の実施が義務付けられている」ことを「知っていた」と回答したのは67.3%。昨年度より8.6%減少傾向。

Q2 法律で、走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（洗車・給油時、長距離走行前）に「日常点検整備」の実施が義務付けられていることをご存じでしたか。（SA）



	2021年調査 (N=1030)	2022年調査 (N=1030)	2023年調査 (N=2000)
知っていた	71.1	71.4	63.6
知らなかった	28.9	28.6	36.5

Q8 あなたは自動車ユーザーは、法律で一定期間毎（自家用車は1年毎）に「定期点検整備」の実施が義務付けられていることをご存じでしたか。（SA）



	2021年調査 (N=1030)	2022年調査 (N=1030)	2023年調査 (N=2000)
知っていた	76.4	75.9	67.3
知らなかった	23.6	24.1	32.7

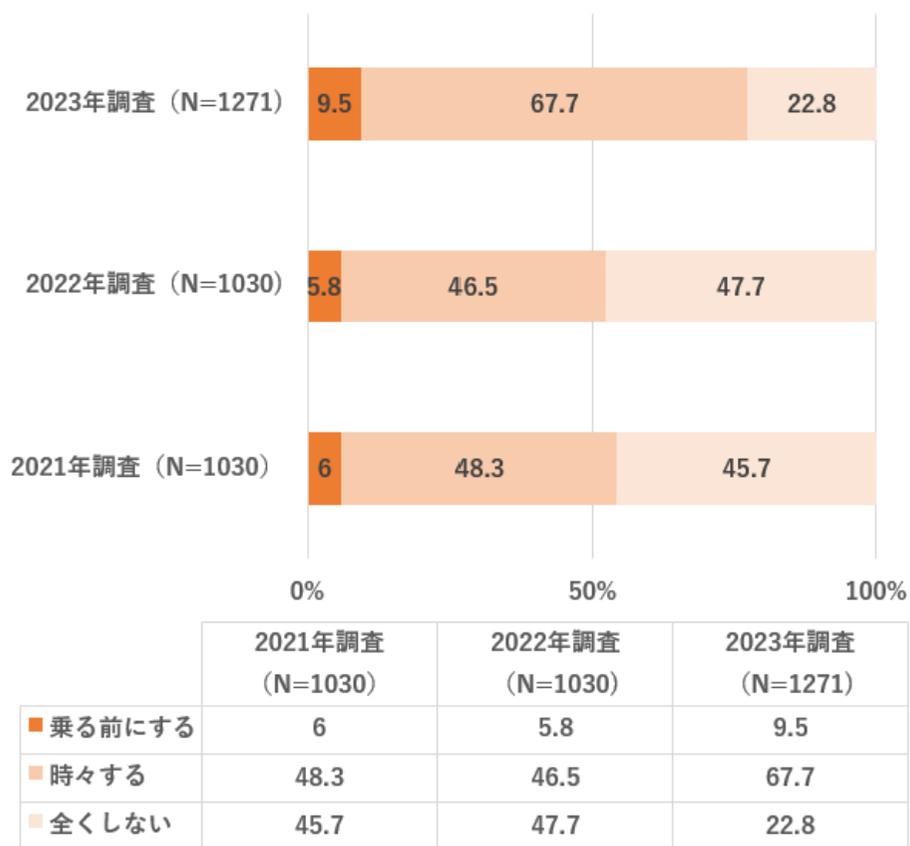
ポイント①

「日常点検」実施の有無に関しては「乗る前にする」が9.5%。「時々する」(67.7%)と合わせた「実施する計」で77.3%。前回、前々回調査より大幅に増加している。

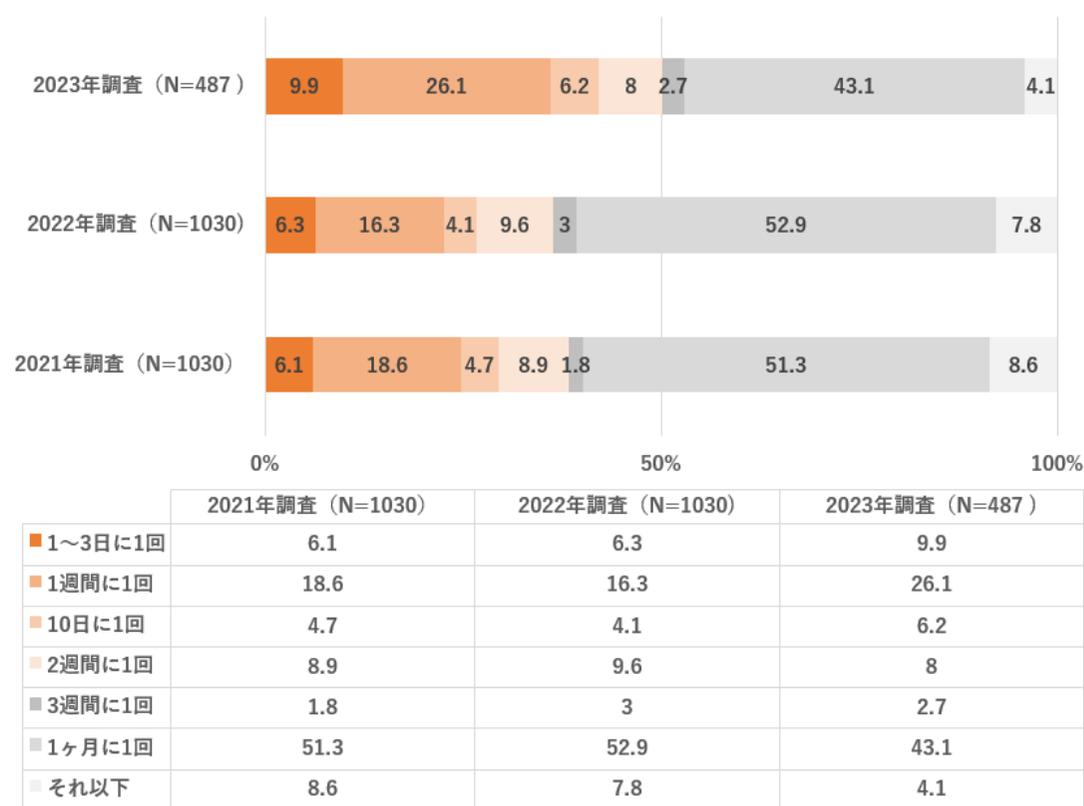
ポイント②

「日常点検」頻度に関しては、「1〜3日に1回」(9.9%)、「1週間に1回」(26.1%)、「10日に1回」(6.2%)となっており、前回、前々回調査より大幅に増加している。事後調査のみとなるので、啓発活動が起因した可能性が考えられる。

Q3 あなたは「日常点検」を実施していますか。



Q4 『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』をする頻度はどのくらいですか。(SA)

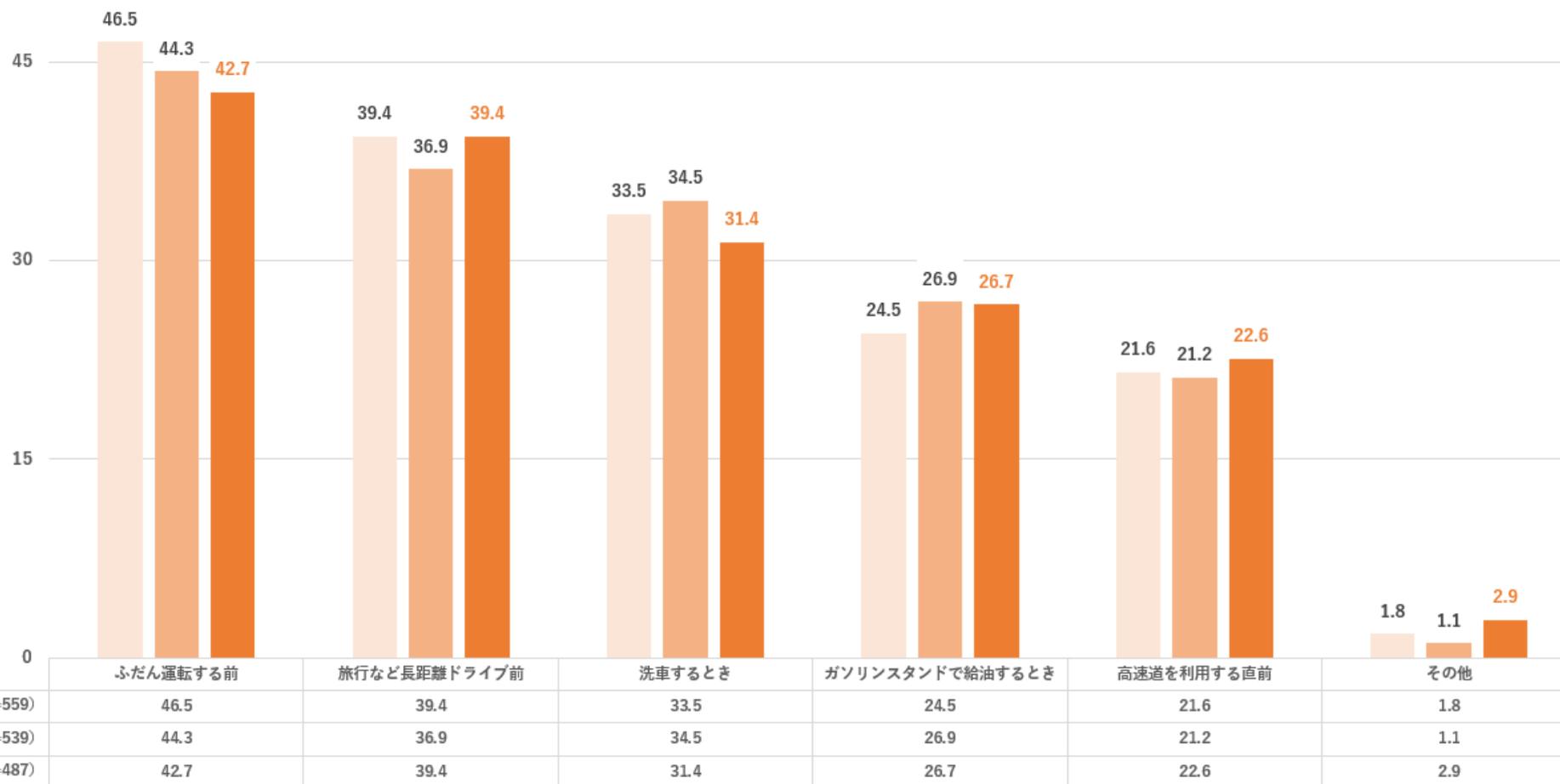


ポイント① 「日常点検」するタイミングに関しては、例年大きな差異は見られない。

「ふだん運転する前」（42.7%）がトップで、次いで「旅行など長距離ドライブ前」（39.4%）、「洗車するとき」（31.4%）。

ポイント② コロナウィルス制限緩和により、旅行・長距離ドライブ・高速道などの数値が微増傾向にある。

Q5 『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』はどのような時に行っていますか。（MA）



■ 2021年調査 (N=559) ■ 2022年調査 (N=539) ■ 2023年調査 (N=487)

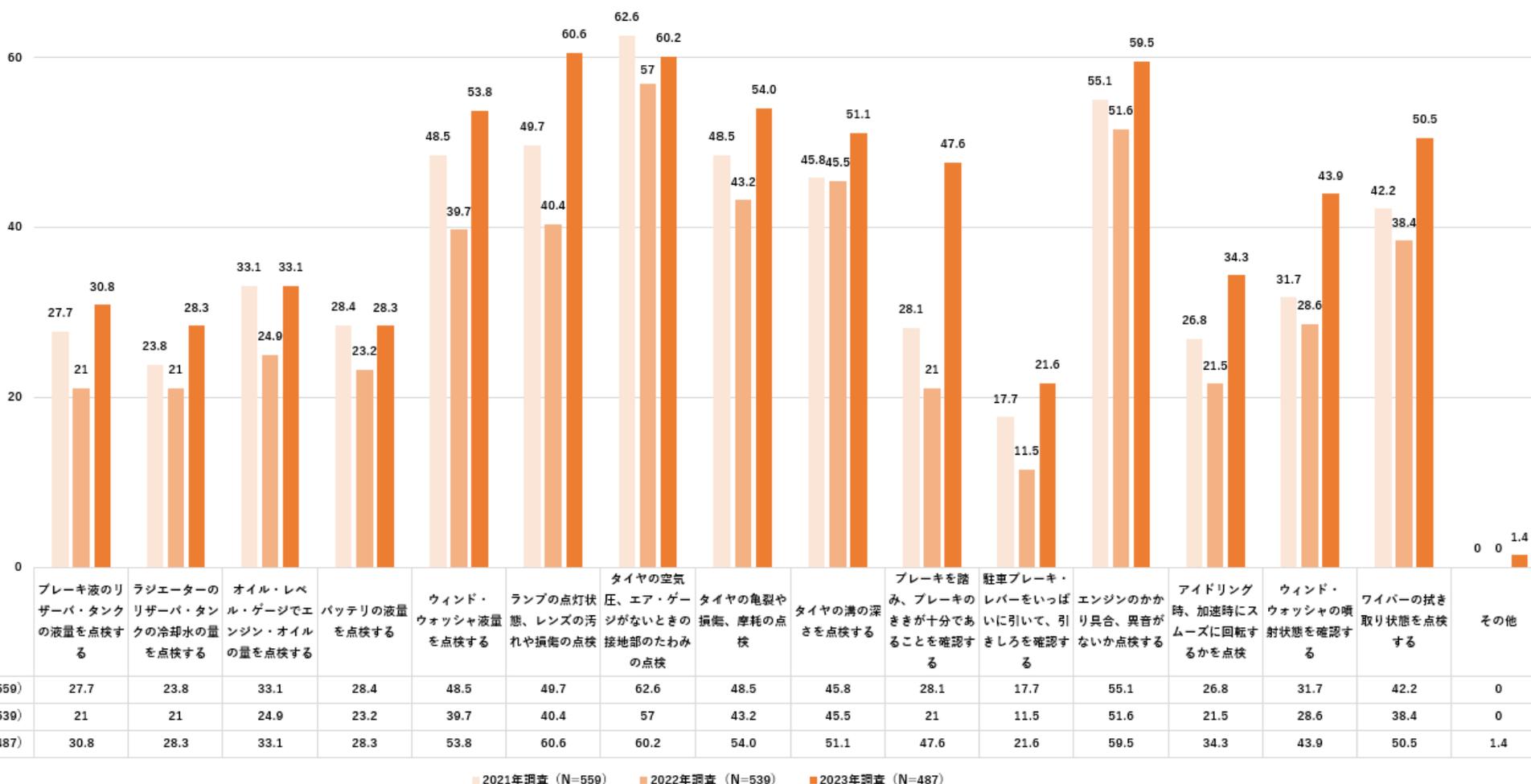
ポイント①

Q3の「日常点検実施」の増加に伴い、各データ等しく実施の項目が大幅増加している。  
事後調査のため、本施策「点検チェック」関連のコンテンツ効果が出ていると考えられる。

ポイント②

大幅な増加としては「ブレーキを踏み・・・」が昨年度+26.6%増加。1位は「ランプ点灯・・・」が60.6%となる。

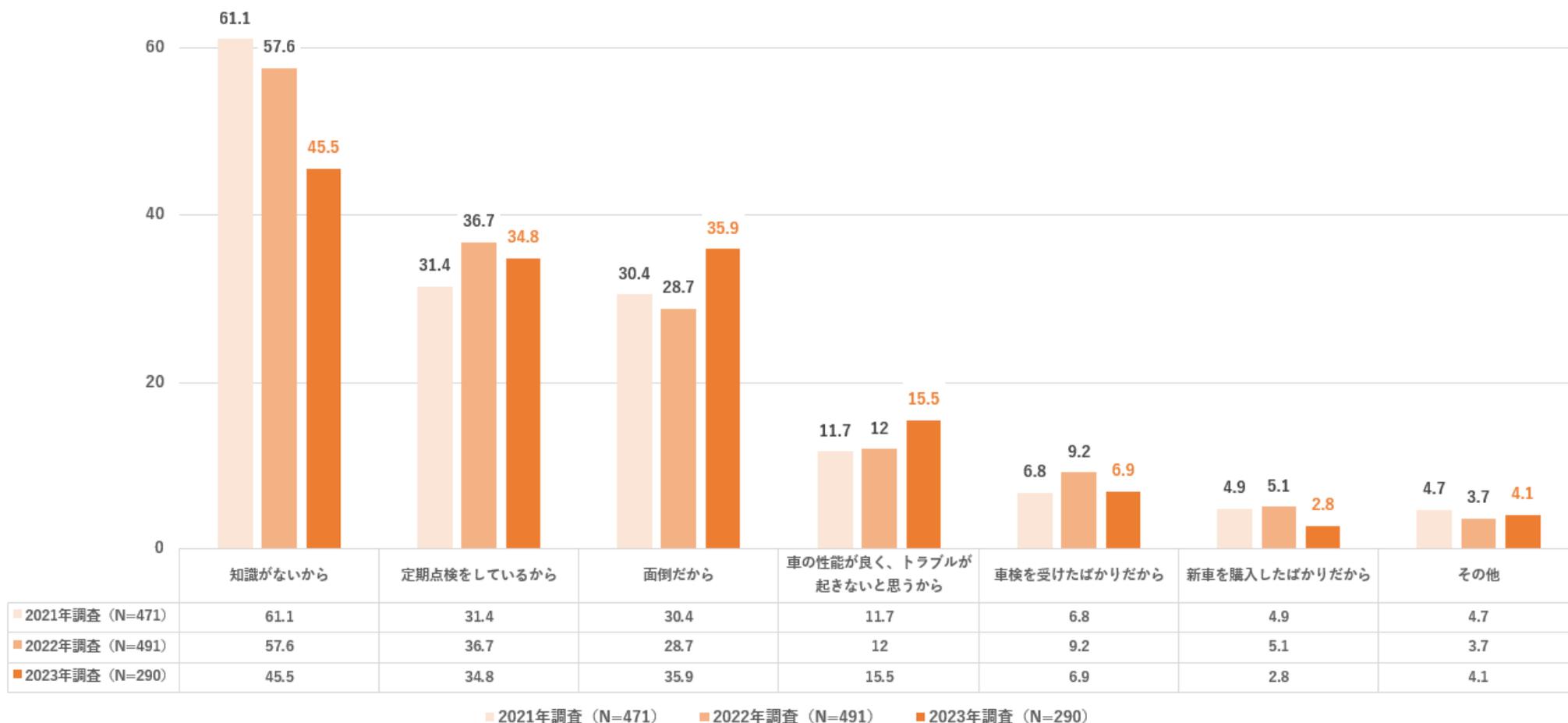
Q6 あなたが自分自身で行っている『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』をお答えください。（MA）



**ポイント①** 前年・前々年の結果に比べ「知識がないから」が45.5%となり、前年に比べ12.1%減少した。  
事後調査のため、本施策関連のコンテンツ効果が出ていると考えられる。

**ポイント②** 増加としては「面倒だから」が35.9%となり、前年に比べ7.2%増加している。

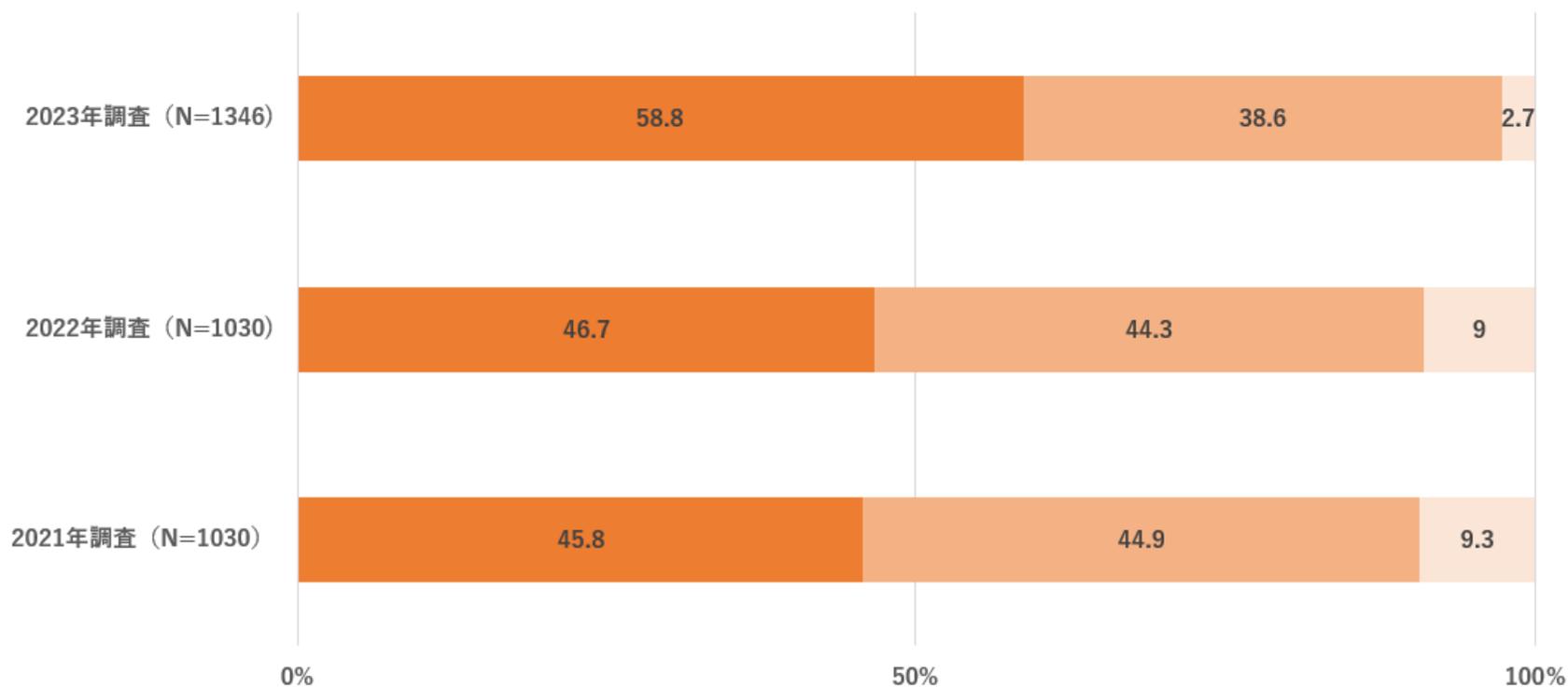
Q7 『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』を全くしない理由を教えてください。（MA）



**ポイント①** 「必ず実施（自家用車は1年ごと）している」の比率が最も高く**58.8%**となり、前年に比べ**12.1%増加**となる。  
「車検の時（自家用車は2年に1回）に実施している」（**38.6%**）となり、必ず実施増加に伴い減少した。

**ポイント②** 「全く実施していない」は例年一番低くなり、**2.7%**。前年に比べ、**6.3%減少**し、啓発活動の効果が出ていると考えられる。

Q9 あなたは整備工場等で『定期点検整備（一定期間ごとに車を点検）』を実施していますか。（SA）



	2021年調査 (N=1030)	2022年調査 (N=1030)	2023年調査 (N=1346)
■ 必ず実施（自家用乗用車は1年ごと）している	45.8	46.7	58.8
■ 車検の時（自家用乗用車は2年に1回）に実施している	44.9	44.3	38.6
■ 全く実施していない	9.3	9	2.7

## ポイント①

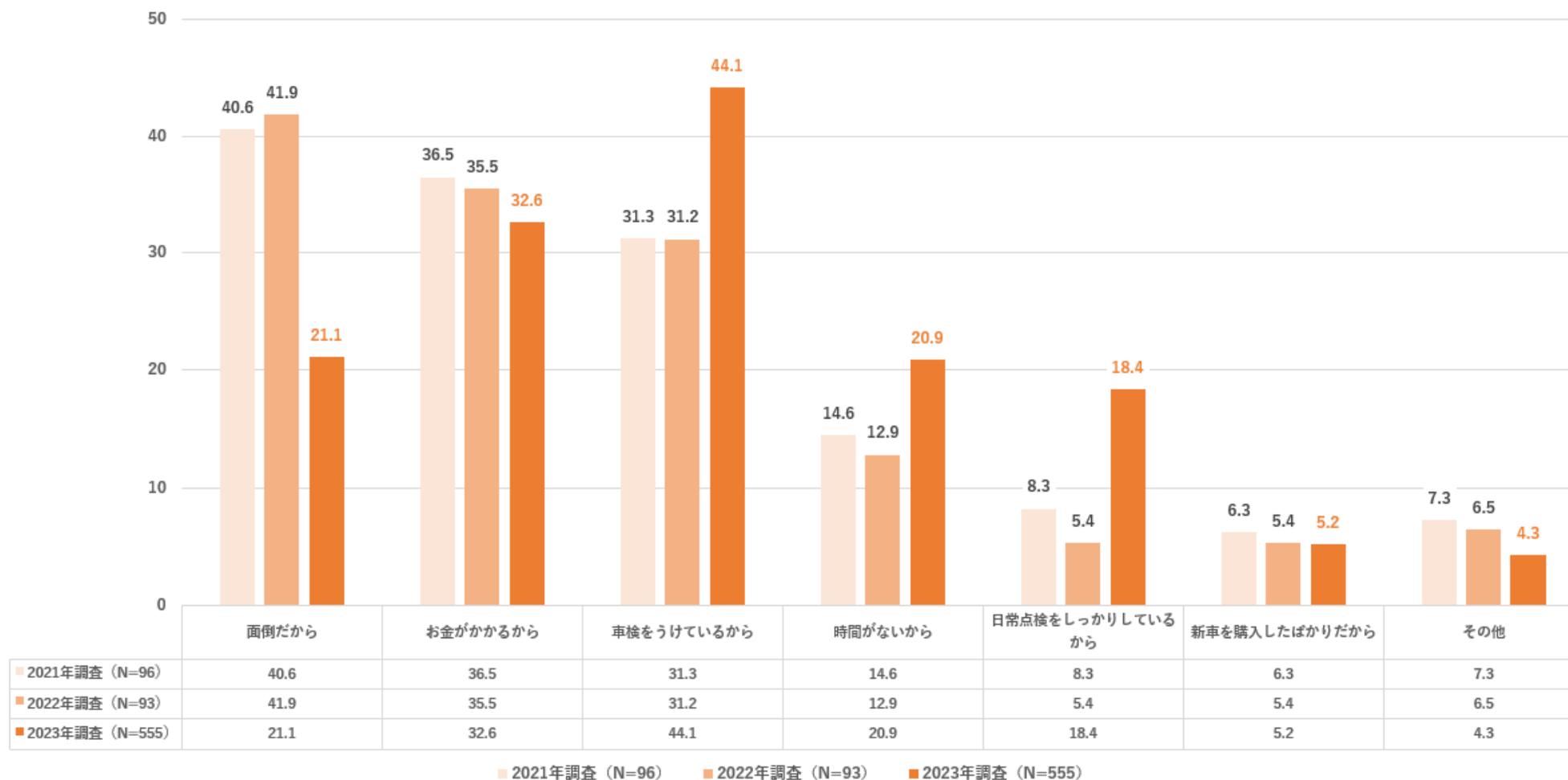
「日常点検点検をしっかりとっているから」が18.4%となり、前年に比べ13%増加している。

日常点検の実施啓蒙ができた反面、定期点検の実施に関する違いの啓発が課題であると考えられる。

## ポイント②

「車検をうけているから」（44.1%）。「時間がないから」（20.9%）と増加になり、定期点検の差別化啓発が必要と考えられる。

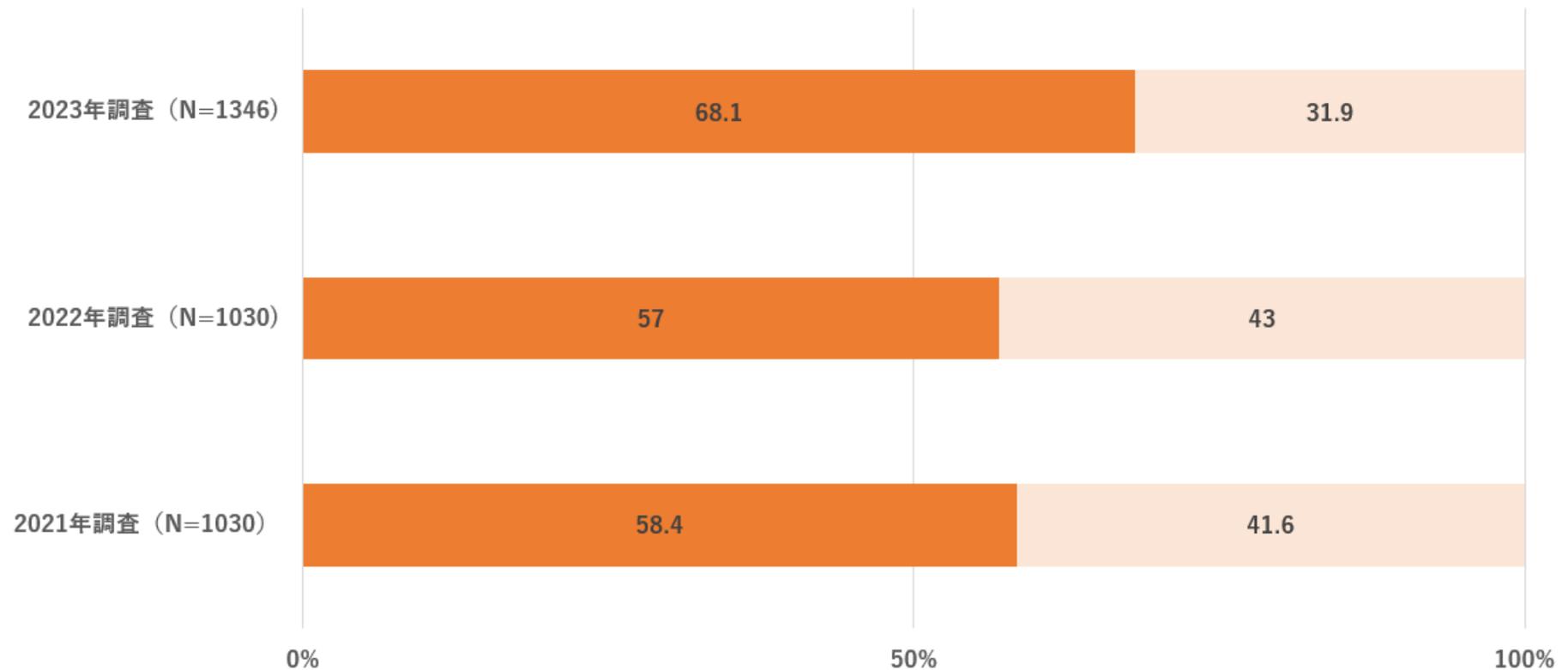
Q10 あなたが、「定期点検整備」を必ずしも実施しない理由を教えてください。



**ポイント** 「知っていた」が**68.1%**となり、前年に比べ**13.1%増加**となる。

自動車への乗車頻度が高いユーザーであるからと考えられるが、認知については浸透してきていると考えられる。

Q11 車検の時以外の「定期点検整備」では、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料が、かからないことをご存じでしたか。(SA)

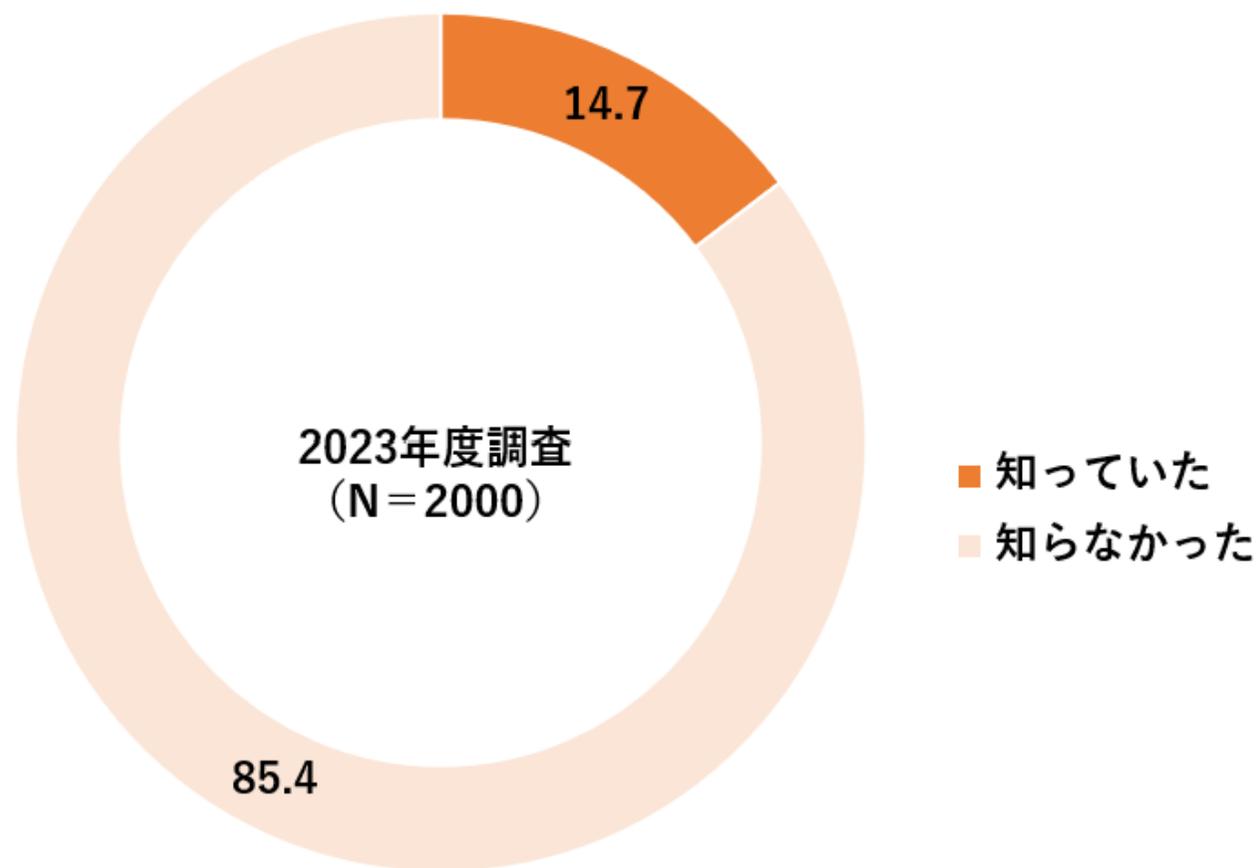


	2021年調査 (N=1030)	2022年調査 (N=1030)	2023年調査 (N=1346)
■ 知っていた	58.4	57	68.1
■ 知らなかった	41.6	43	31.9

## ポイント

「OBD点検」の認知度は14.7%となった。前年に比較がないため推移の分析ができないが、定期点検の調査に関わるデータから見ると、合わせて啓発の強化が必要であると考えられる。

Q12 令和3年10月1日より「車載式故障診断装置（OBD）」が搭載された自動車は、「OBD点検」が12カ月ごとの定期点検の対象になったことをご存じでしたか。



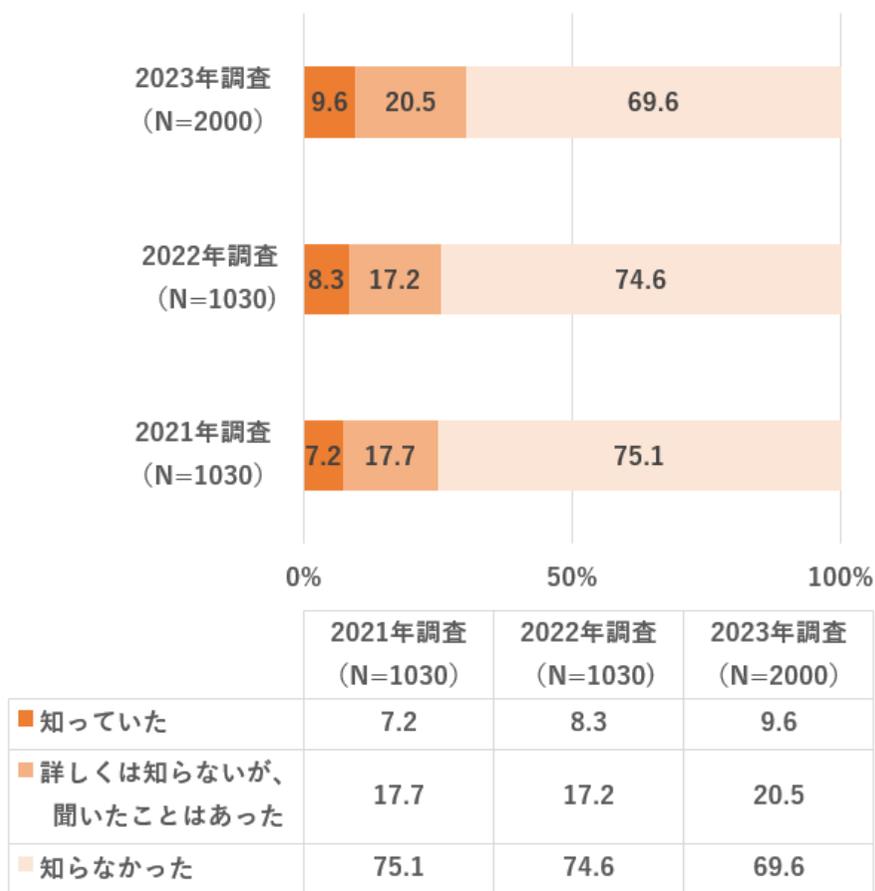
ポイント①

「自動車点検整備推進運動」の認知率は、前回より微増であり「知っていた」（9.6%）で、1.6%増加傾向。「詳しくは知らないが、聞いたことはあった」（20.5%）の認知計で30.1%で、前年に比べ4.6%増加となった。

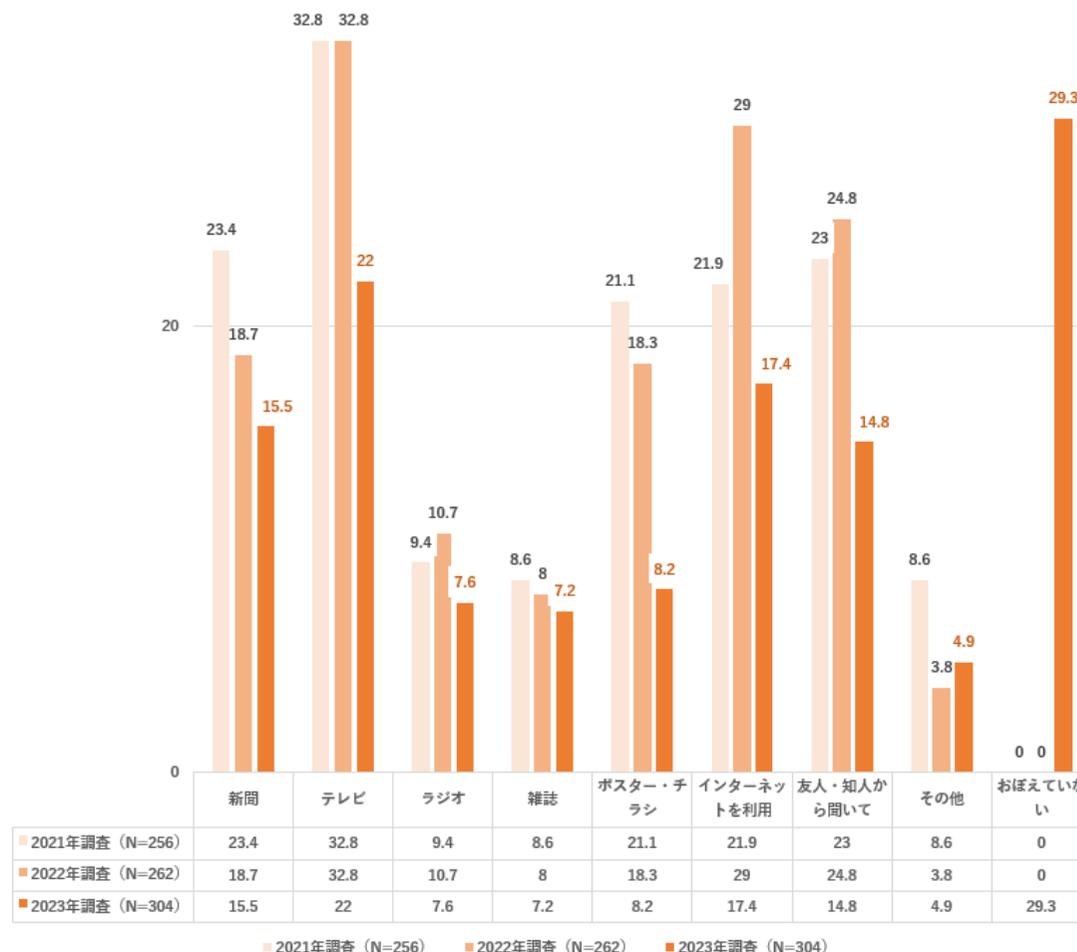
ポイント②

認知経路については今回TVCMは行っていないもののYouTubeのオンデマンドテレビ配信を行ったため22%となった。「インターネットを利用」と合算すると39.4%となり、ネット動画での経路が多いと考えられる。

Q13 あなたは『自動車点検整備推進運動』をご存じでしたか。（SA）



Q14 『自動車点検整備推進運動』を何で知りましたか。（MA）



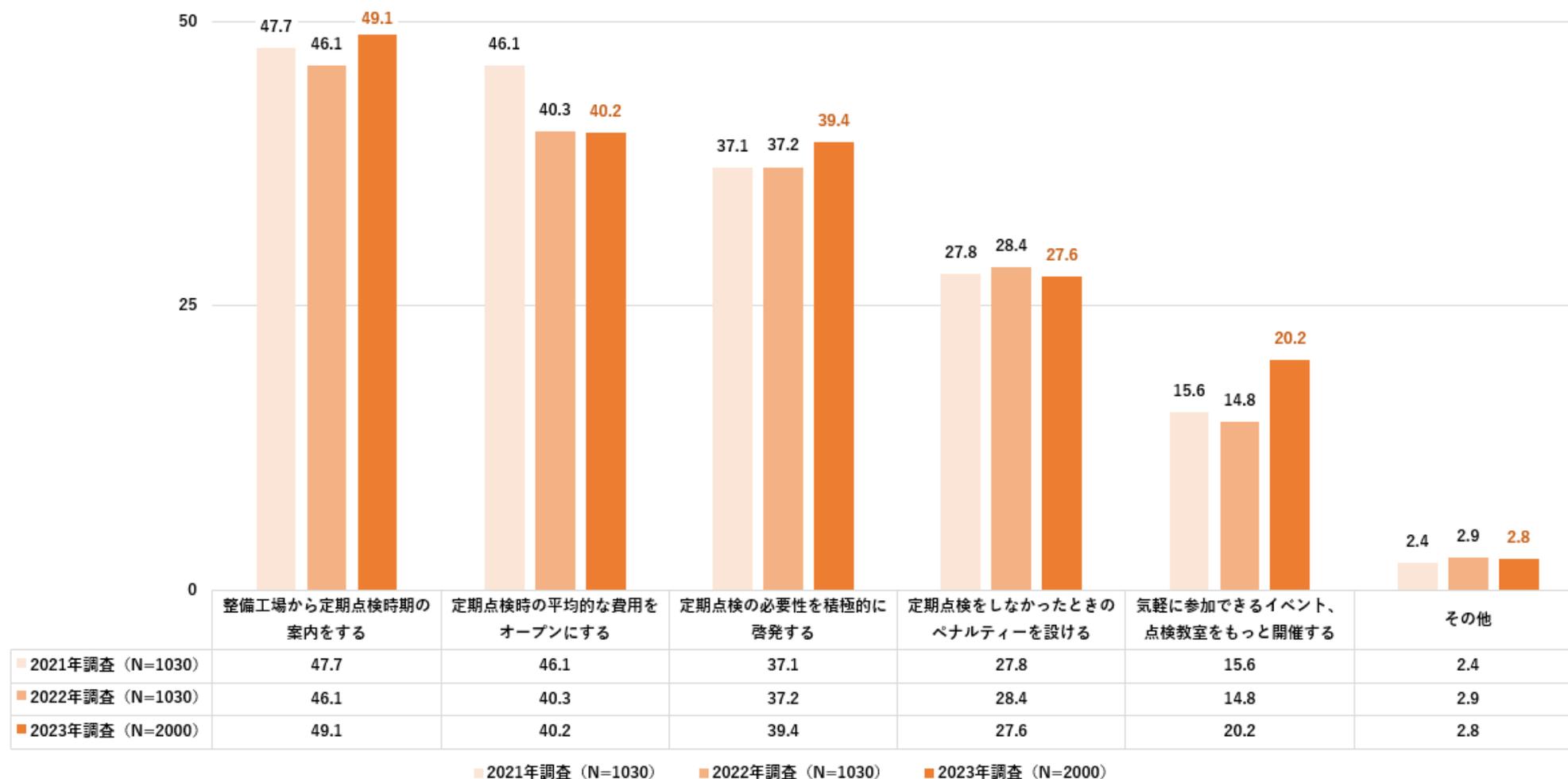
## ポイント①

定期点検を確実に実施してもらうために必要な施策としては、「整備工場から定期点検時期を案内する」（49.1%）でトップ。次いで「定期点検時の平均的な費用をオープンにする」（40.2%）となり例年通りとなる。

## ポイント②

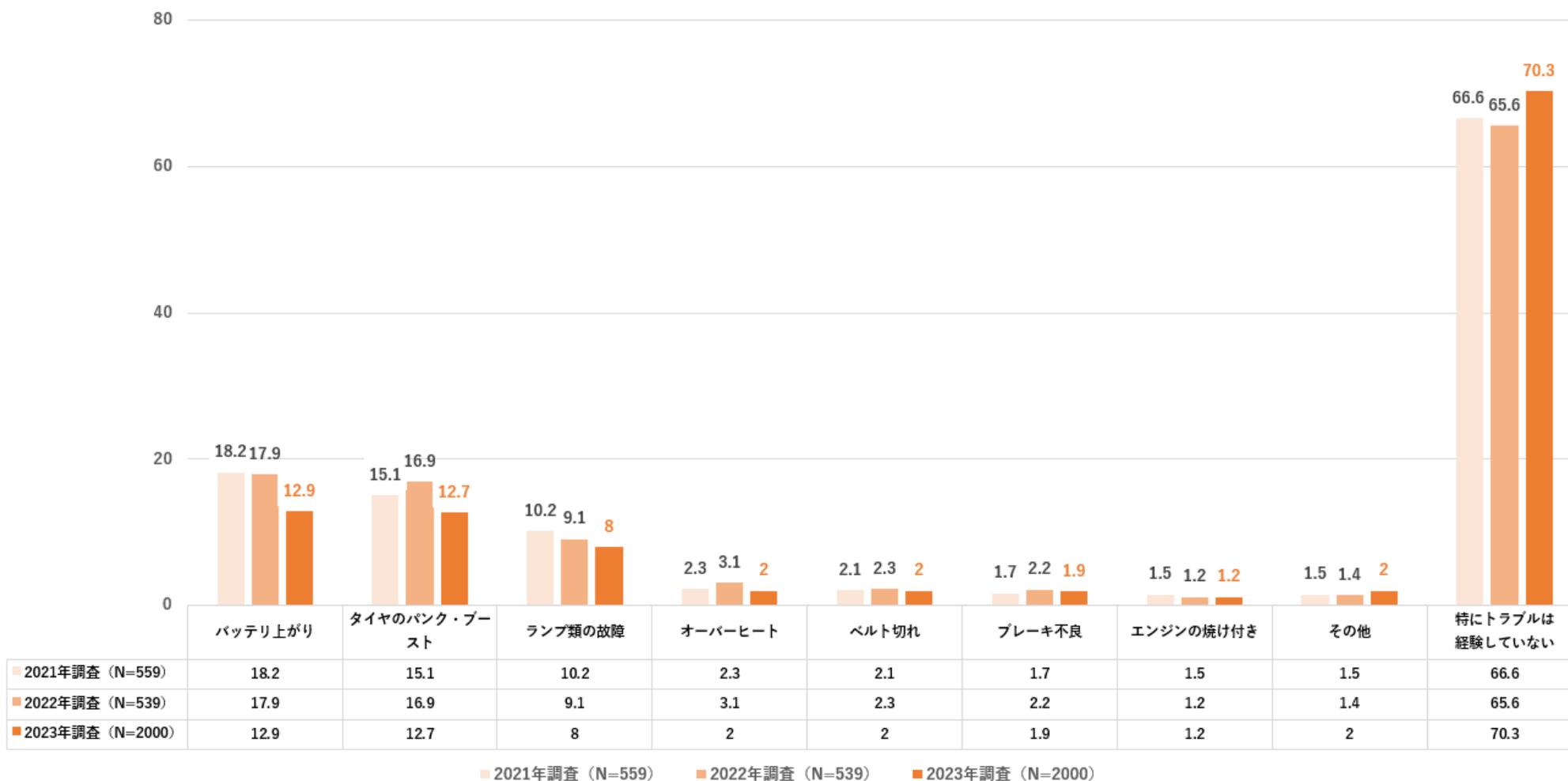
増加が大きいものとして「気軽に参加できるイベント・・・」が20.2%となり、前年に比べ5.4%増加となる。各地域でのイベント開催が大きな啓発要素に起因すると考えられる。

Q15 定期点検を確実に実施してもらうためには、どのような対策が必要と考えますか。（MA）



**ポイント** 「特にトラブルは経験していない」（70.3%）が過去調査も含めてトップ。前年に比べ4.7%増加している。他数値についても、前年と比べ減少傾向にあり、啓発活動がトラブル防止に起因していることが伺える。

Q16 最近1年間に、車を運転していて、次のようなトラブルを経験したことがありますか。（MA）



ポイント①

本年調査については「見たような気がする」を排除し、「**確かに見た**」が**23.1%**となり、**前年に比べ18.1%増加**している。前年までの「**確かに見た**」と「**見たような気がする**」を合算した**13.3%**も、**9.8%上回り認知の拡大**ができたと考えられる。

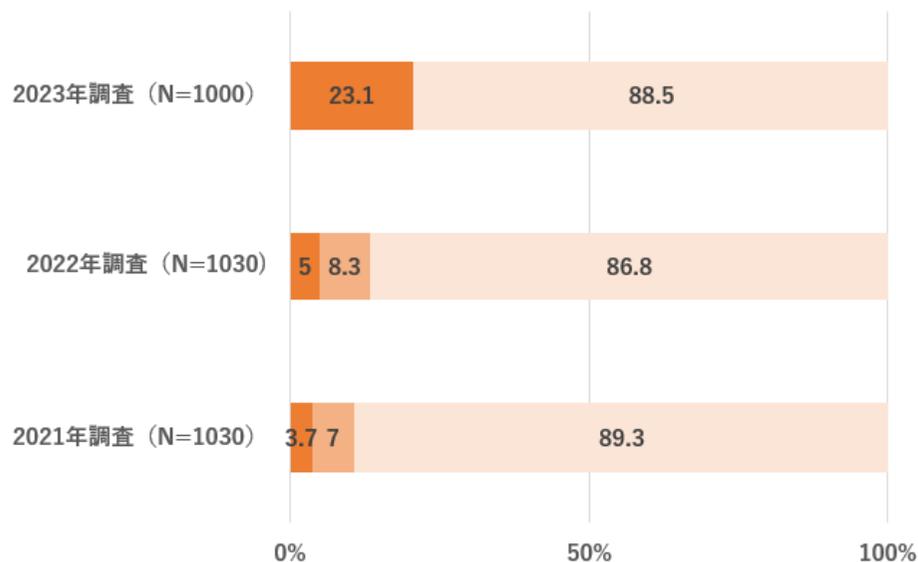
ポイント②

内訳をみていくと「**アハ点検動画 / YouTube版**」がもっと高く認知されている。次いで特設サイト及び点検チェックシートが上げられる。**YouTubeの媒体が一番効果的認知拡大**に繋がったと考えられる。

Q17 あなたは点検整備についてのコンテンツをご存知ですか。（MA）

※過去比較（いずれかの動画認知率）

※2023年度は（コンテンツ）いずれかの認知総数

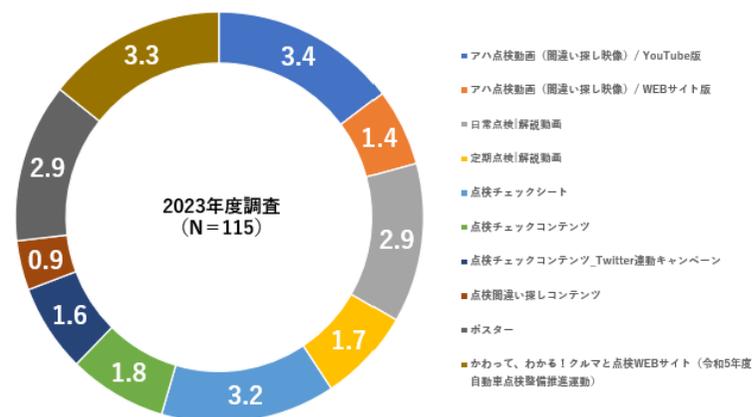


	2021年調査 (N=1030)	2022年調査 (N=1030)	2023年調査 (N=1000)
確かに見た	3.7	5	23.1
見たような気がする	7	8.3	0
見たことはない / 忘れた	89.3	86.8	88.5

※2023年度は「見たような気がする」は排除

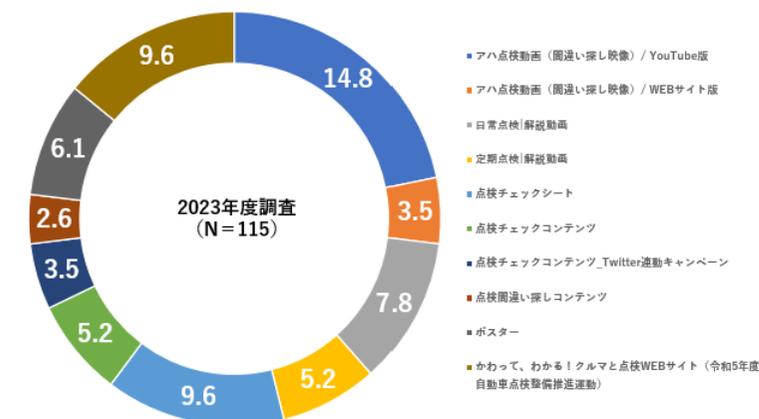
Q17 あなたは点検整備についてのコンテンツをご存知ですか。

見たことがあるものを全てお選びください。（MA）



Q18 点検整備についてのコンテンツをご存じの方にお伺いします。

実際に「間違い探し」をやってみたものを全てお選びください。



**ポイント**

性年代別に視聴経験を見ると、「男性18歳～29歳」が最も認知が高く認知計45.0%となり、前年に比べ19.8%の増加となる。ついで「男性50歳～59歳」でも認知計で35.0%と他の層に比べ高い認知率となっている。若年層では「女性18歳～29歳」も29.0%と、前年に比べ増加傾向。若年層への認知拡大に加え、シニア層へもYouTubeという媒体を通して、啓発が推進できたと考えられる。

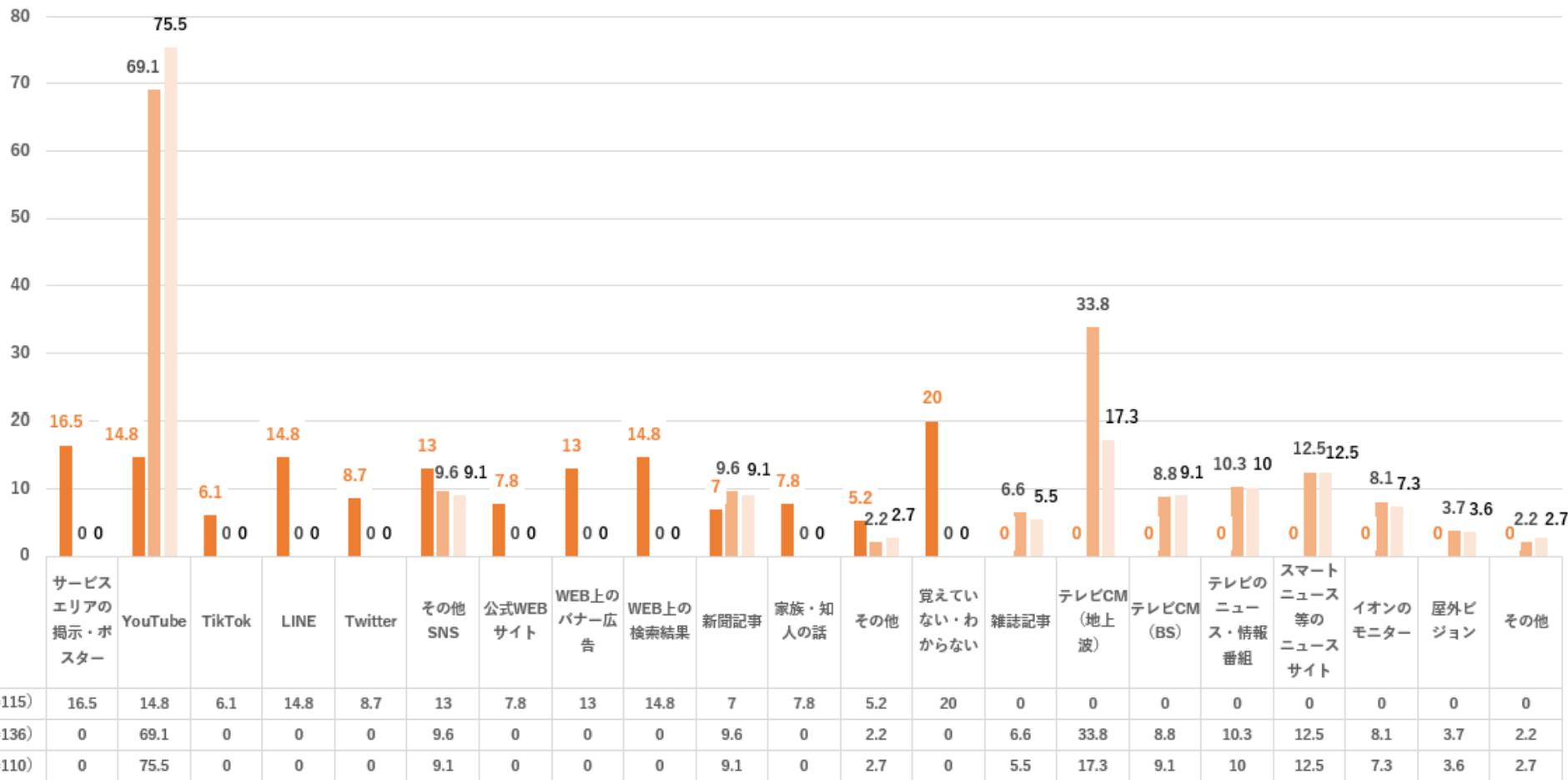
Q17 あなたは以下の点検整備についてのコンテンツをご存じですか。見たことがあるものを全てお選びください。（MA） ※性年代別分析

	2022年調査					2023年調査			
	全体	確かに見た	見たような気がする	みたことはない/ 忘れた	認知計	全体	確かに見た	みたことはない/ 忘れた	認知計
全体	(1030)	5.0	8.3	86.8	13.3	(1000)	23.1	88.5	23.1
男性 18-29歳	(103)	5.8	19.4	74.8	25.2	(100)	45.0	82.0	45.0
男性 30-39歳	(103)	8.7	5.8	85.4	14.5	(100)	12.0	93.0	12.0
男性 40-49歳	(103)	5.8	5.8	88.3	11.6	(100)	16.0	90.0	16.0
男性 50-59歳	(103)	2.9	5.8	91.3	8.7	(100)	35.0	85.0	35.0
男性 60-69歳	(103)	8.7	4.9	86.4	13.6	(100)	26.0	82.0	26.0
女性 18-29歳	(103)	8.7	17.5	73.8	26.2	(100)	29.0	87.0	29.0
女性 30-39歳	(103)	4.9	3.9	91.3	8.8	(100)	9.0	94.0	9.0
女性 40-49歳	(103)	1.9	7.8	90.3	9.7	(100)	23.0	91.0	23.0
女性 50-59歳	(103)	1.9	4.9	93.2	6.8	(100)	23.0	90.0	23.0
女性 60-69歳	(103)	0.0	6.8	93.2	6.8	(100)	13.0	91.0	13.0

ポイント

マルチなデジタルプロモーションを実施したため、例年に比べてばらつきがみられるが、SNS関連の流入が57.4%と過去最高となる。ついでインターネット関連の流入が、27.8%となり広告効果がでていいると考えられる。動画を中心としたデジタルプロモーションは一定の効果が見込めると考えられ、サービスエリアの掲載についても16.5%と高い傾向にある。

Q19 あなたは先ほどの点検整備についてのコンテンツをどこから知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。（MA）

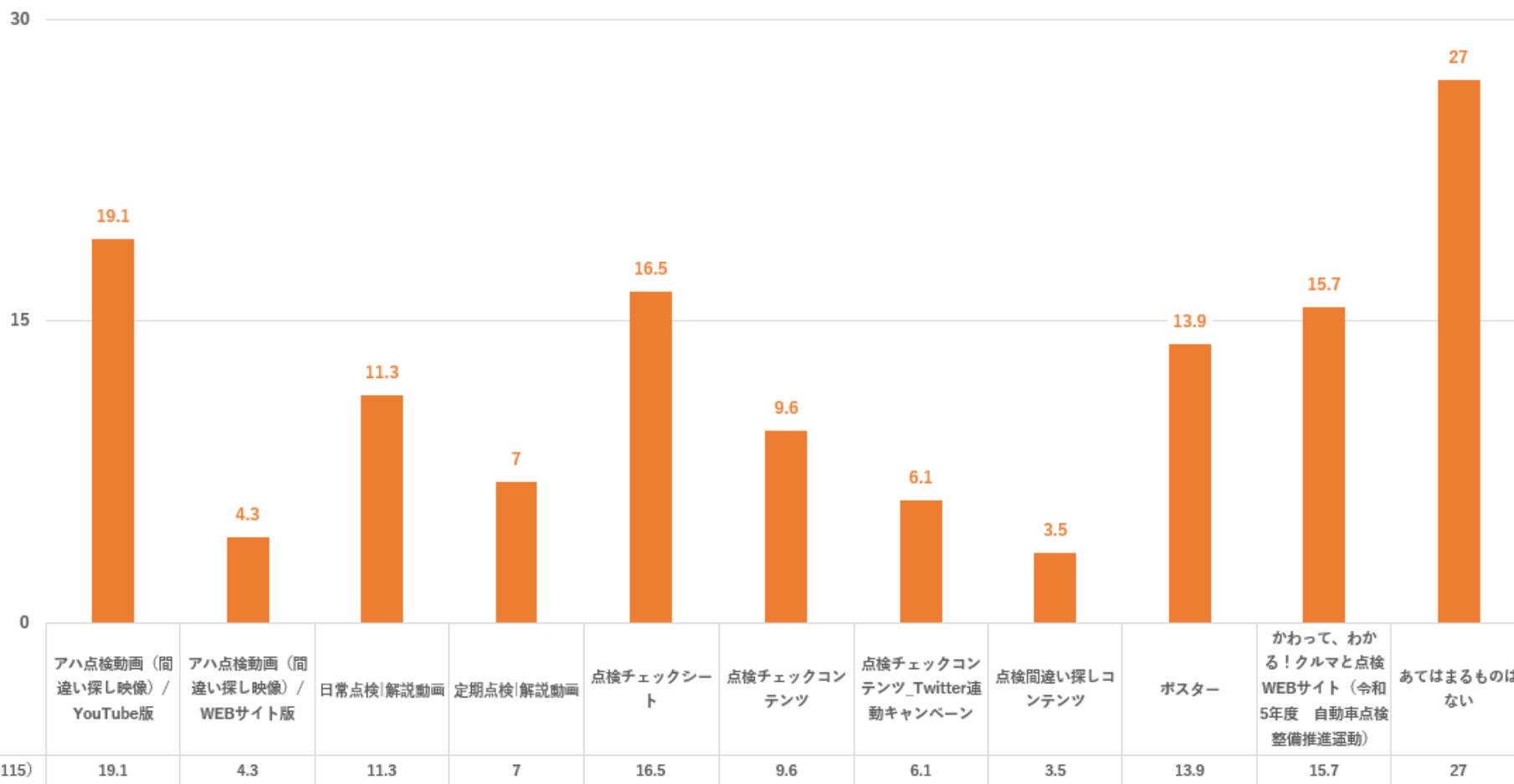


■ 2023年調査 (N=115) ■ 2022年調査 (N=136) ■ 2021年調査 (N=110)

ポイント

点検の必要性について、一番大きく起因したコンテンツは「アハ点検動画 / YouTube版」(19.1%)となる。次いで、点検チェックシートが16.5%。点検チェックコンテンツはキャンペーン連動と総計し15.7%となり、特設サイトも15.7%。日常点検の啓発が大きく推進できた点からも、**点検項目の具体的な提示が本施策の良かった点**と考えられる。

Q20 それぞれの点検整備についてのコンテンツをご覧になって、「点検の必要性」が理解できたと思うものをお選びください。(MA)

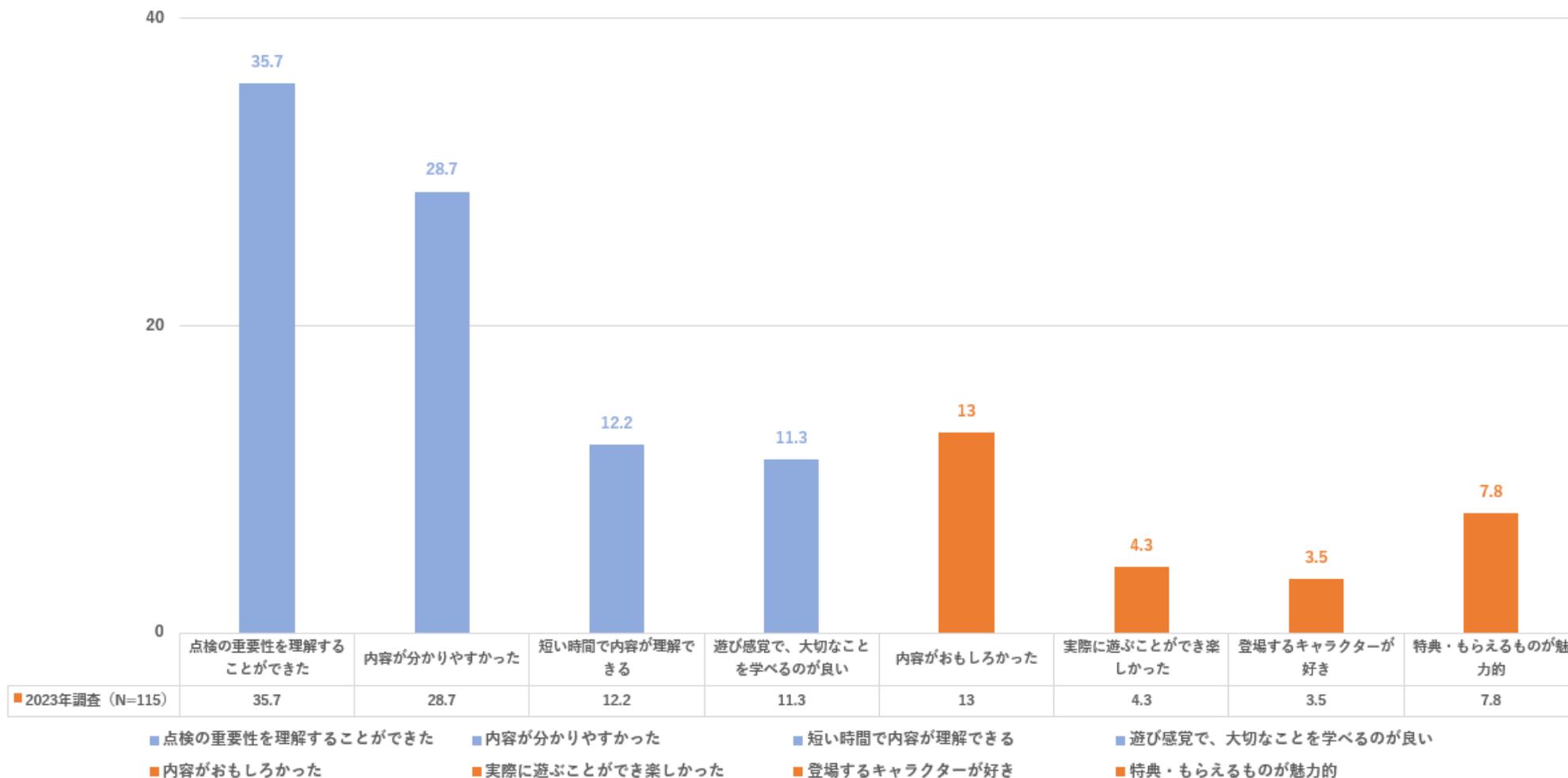


■ 2023年調査 (N=115)

ポイント

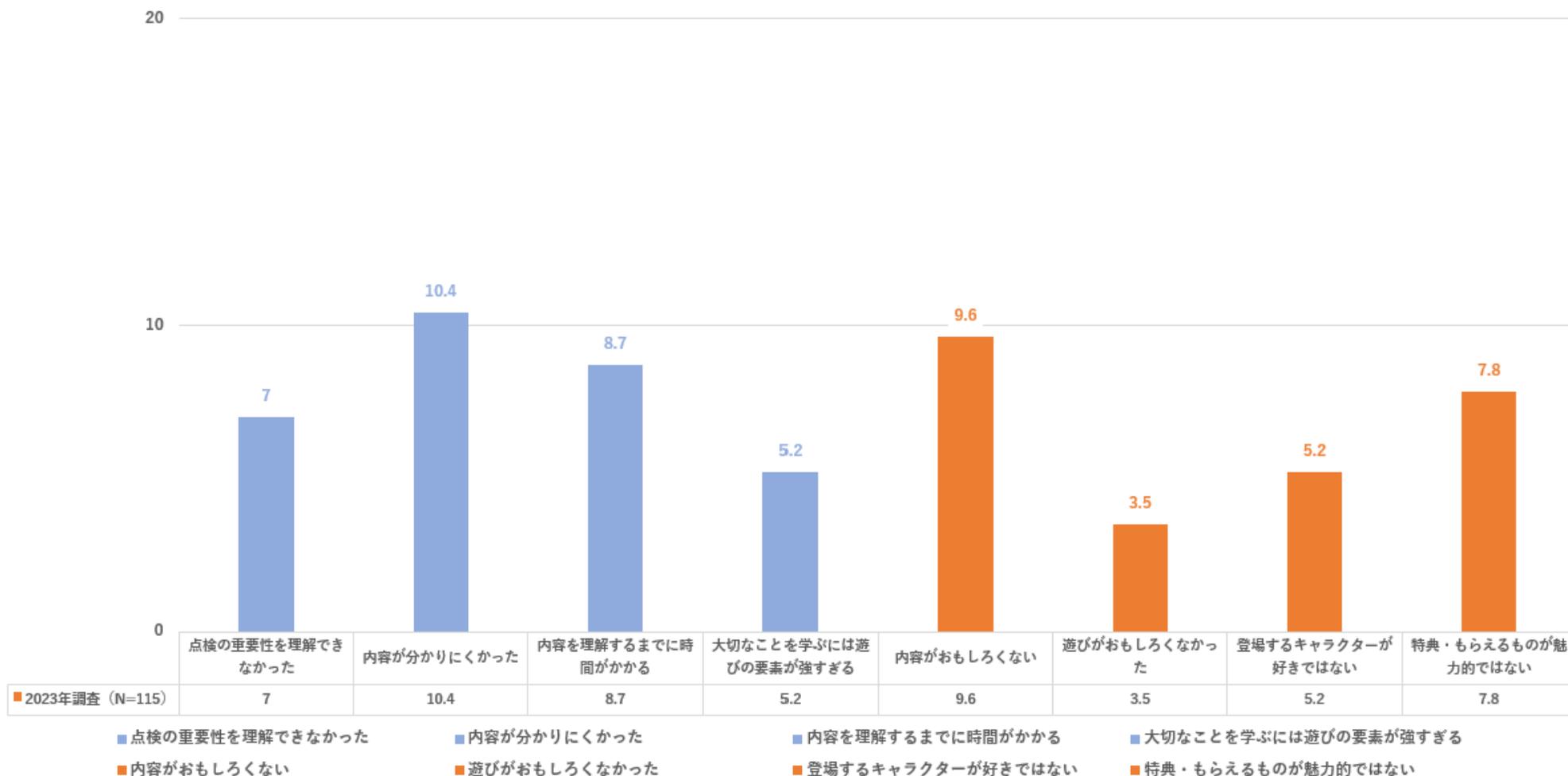
コンテンツに関する印象調査においては、「**点検の重要性を理解することができた**」が**35.7%**と高く、「**内容が分かりやすかった**」が**28.7%**となり、日常点検に関する啓発と、難しい内容を分かりやすく伝えるという施策のコンセプトを実現できたと考えられる。加えて、「**遊び感覚で・・・**」(11.3%)と「**内容が面白かった**」(13.0%)となり、難しい内容をエンターテインメント要素を交えてしっかり楽しく伝えられたと考えられる。

Q21 あなたは先ほどの点検整備についてのコンテンツをご覧になって感じたことで、あてはまるものを全てお選びください。(MA)



**ポイント** コンテンツに対するネガティブな印象としては「内容が分かりにくかった」(10.4%)。ついで「内容がおもしろくない」(9.6%)となった。次年度に向けては、更なるエンターテインメント要素の追加と、**分かりやすさを検討する必要がある**と考えられる。

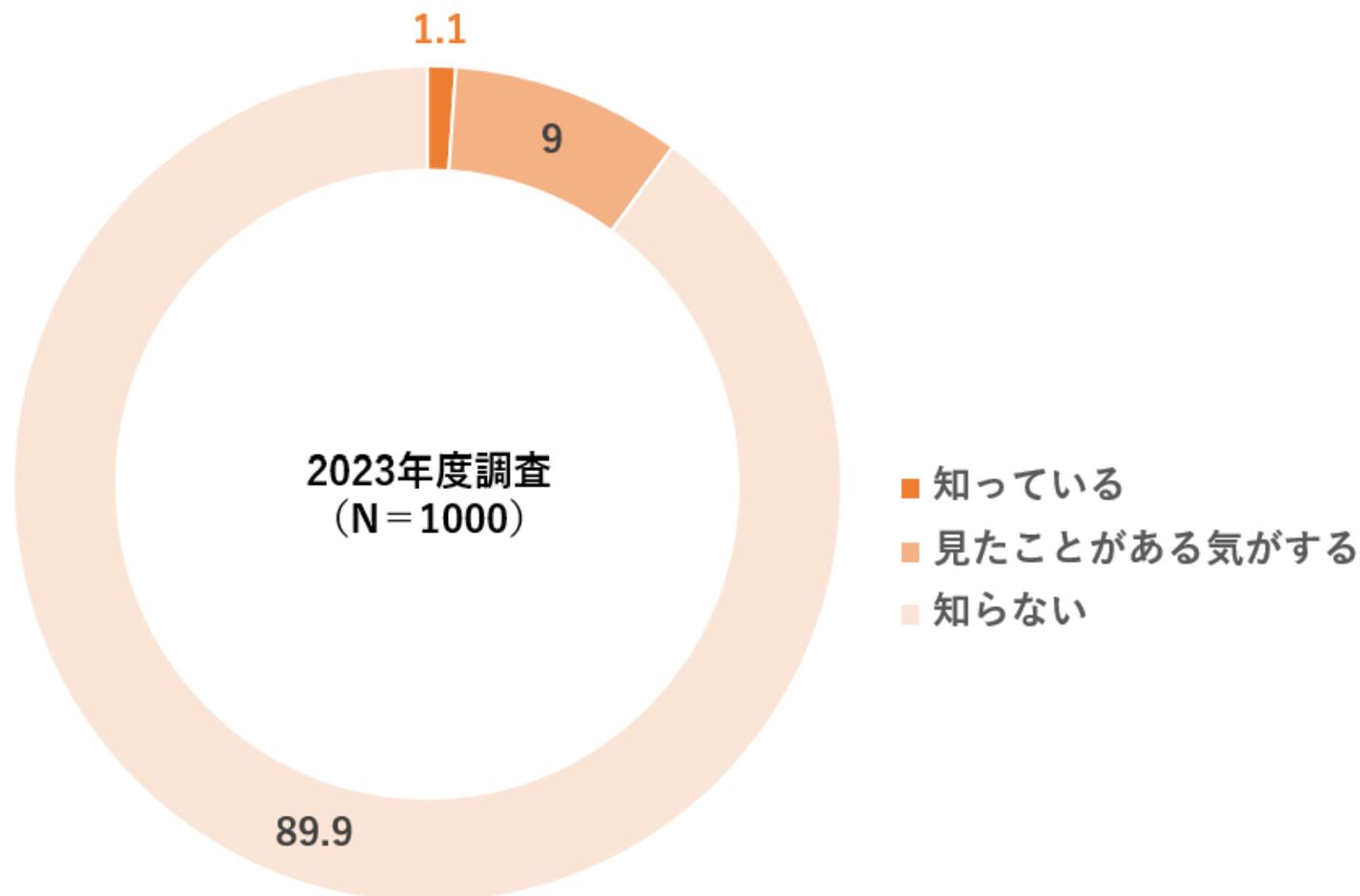
Q21 あなたは先ほどの点検整備についてのコンテンツをご覧になって感じたことで、あてはまるものを全てお選びください。(MA)



## ポイント

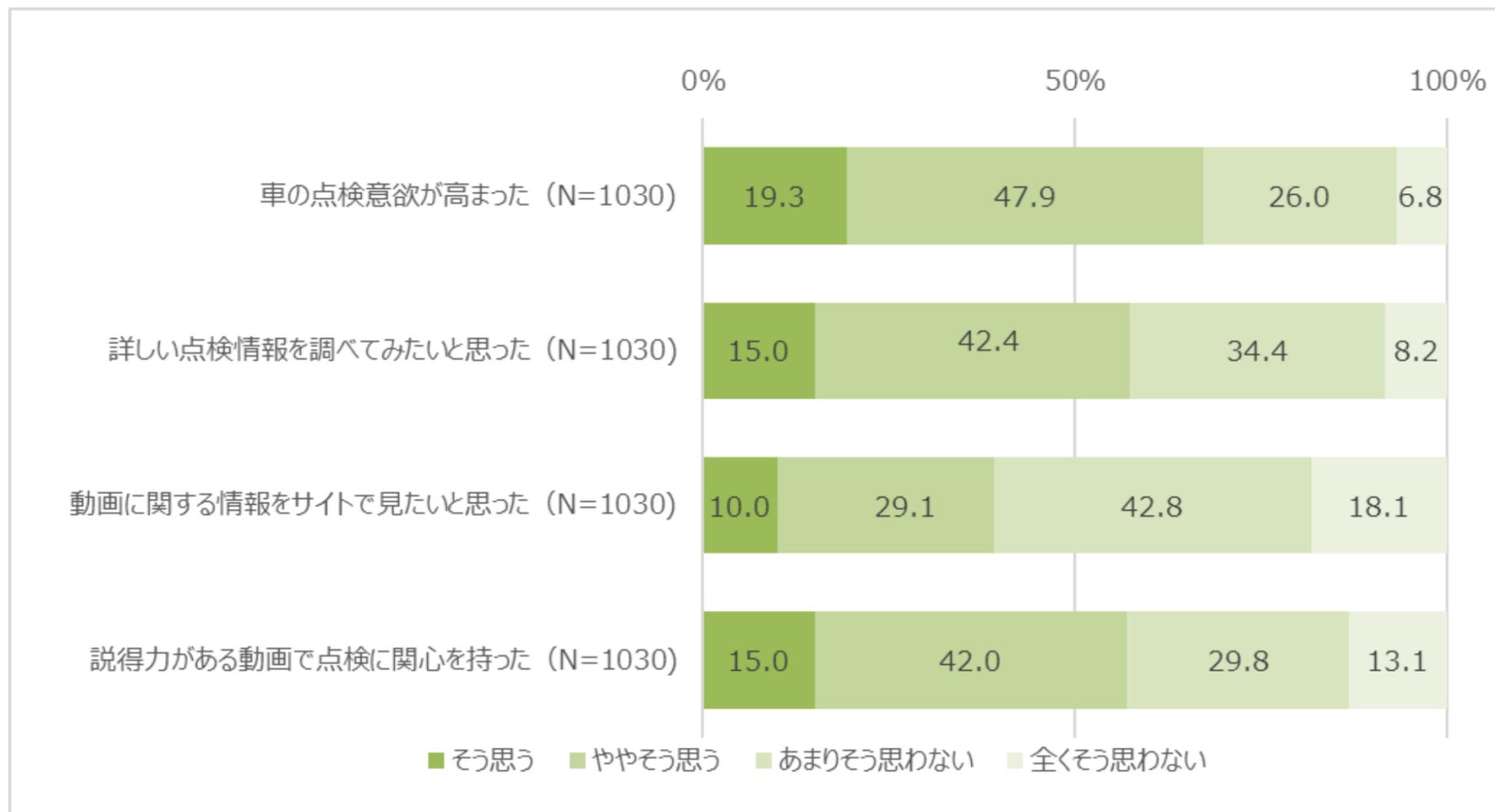
新たなキャラクターである「カー坊」の認知については「知っている」が1.1%となり、「見たことある気がする」が9%と全体的に低い傾向となる。キャラクターの紹介及びSNS等でのキャラクター性の発信がなかったことが原因と考えられるため、次年度以降は、**キャラクターに関するSNSを中心とした認知拡大の施策**が必要であると考えられる。

Q22 あなたは以下のキャラクター（カー坊）を知っていましたか。あてはまるものをお選びください。



## コンテンツ意識変化に関する 2022年度調査の結果参考値となります。

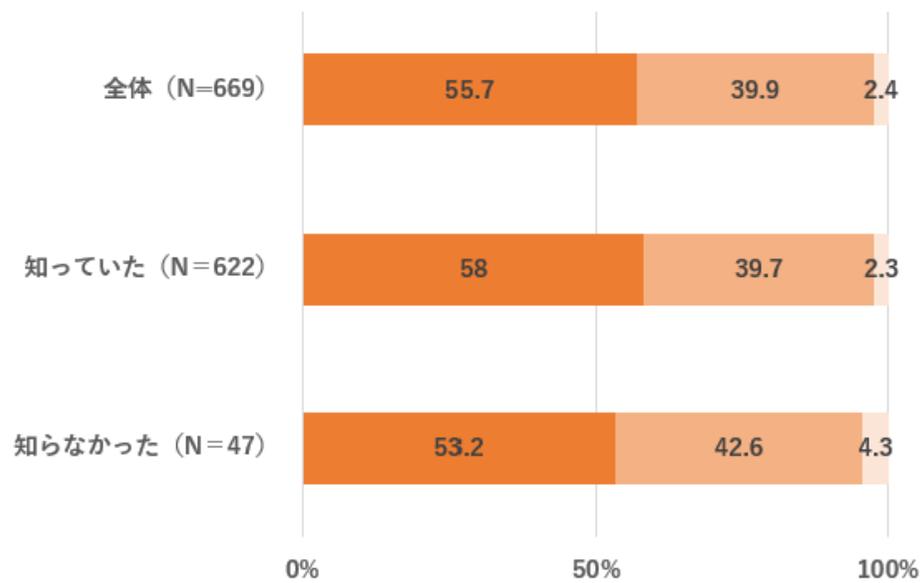
Q23 あなたはこれらの動画をご覧になって、車の点検についてどのようにお思いですか。各項目ごとに当てはまるものをお選びください。（SA）



ポイント

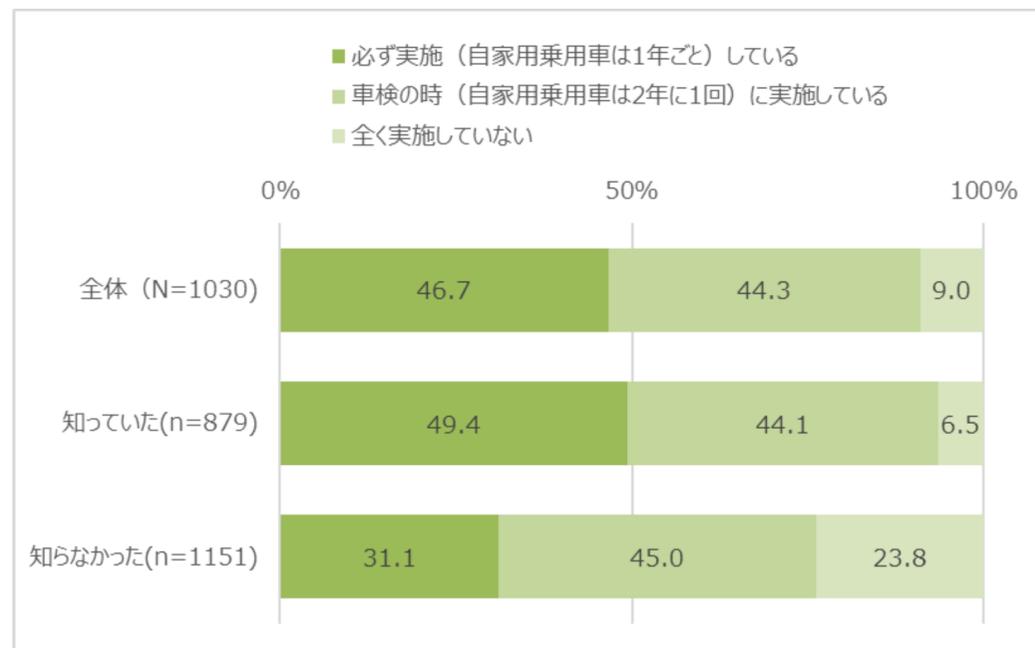
「法律で「車検」以外で「日常点検」と「定期点検整備」の実施義務」があることを知っている層のほうが「必ず実施している」の割合が58.0%と高く、前年に比べ6.3%増加傾向にある。  
 「知らなかった」層の「必ず実施している」割合は53.2%と、母数が少ないながらも22.1%増加傾向となり、啓発活動を通して認知が上がったと考えられる。

2023年調査



	知らなかった (N=47)	知っていた (N=622)	全体 (N=669)
必ず実施 (自家用乗用車は1年ごと) している	53.2	58	55.7
車検の時 (自家用乗用車は2年に1回) に実施している	42.6	39.7	39.9
全く実施していない	4.3	2.3	2.4

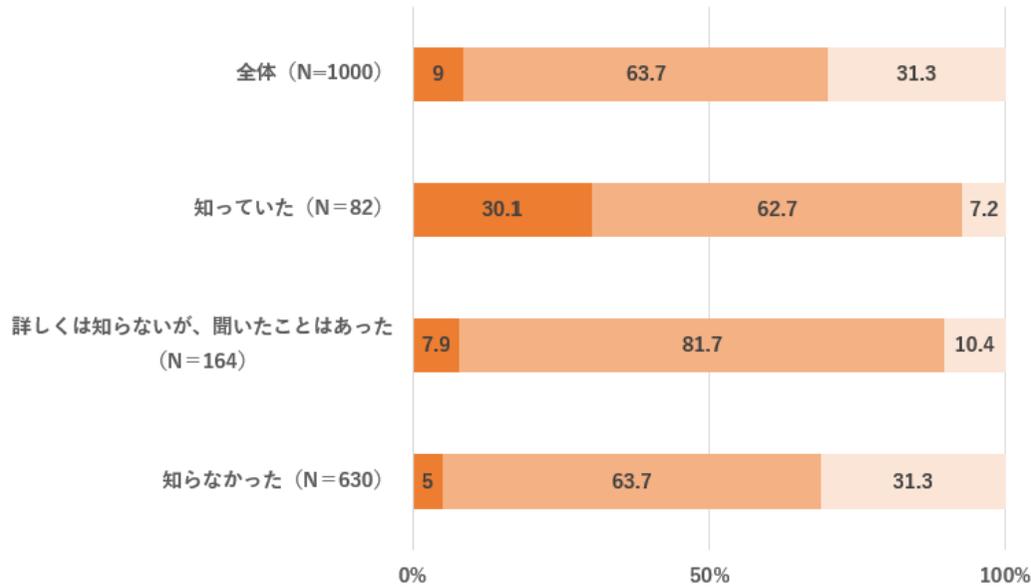
2022年調査



**ポイント**

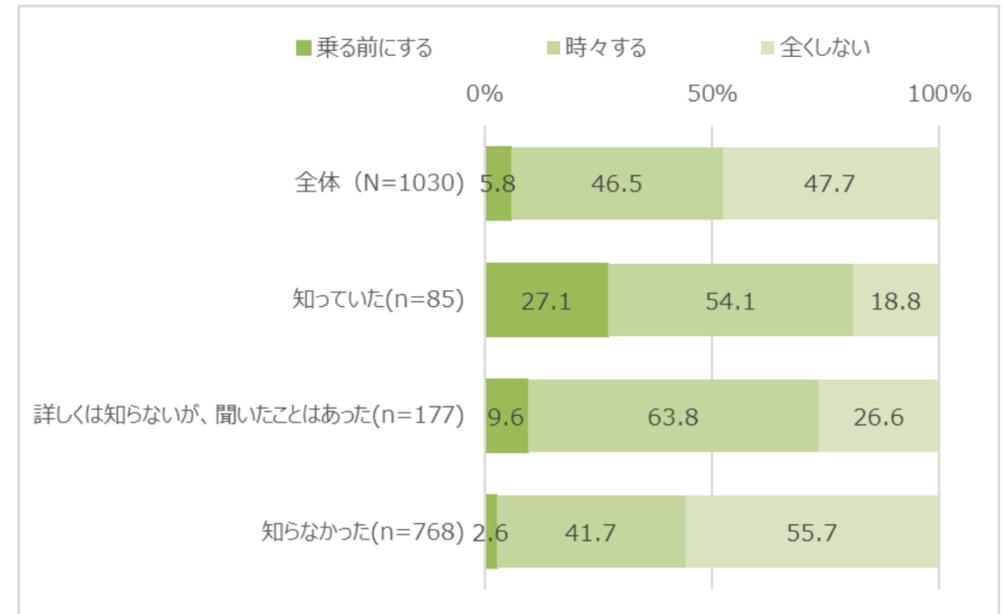
『自動車点検整備推進運動』を「知っていた」と回答した層は、日常点検を「乗る前にする」と回答した割合が高く30.1%。前年に比べ、3.0%増加した。  
 全体としても「全くしない」が31.3%と、前年に比べ16.4%の減少となり、推進運動について認知をした層に対する日常点検の啓発の効果があったと考えられる。

**2023年調査**



	知らなかった (N=630)	詳しくは知らないが、聞いたことはあった (N=164)	知っていた (N=82)	全体 (N=1000)
乗る前にする	5	7.9	30.1	9
時々する	63.7	81.7	62.7	63.7
全くしない	31.3	10.4	7.2	31.3

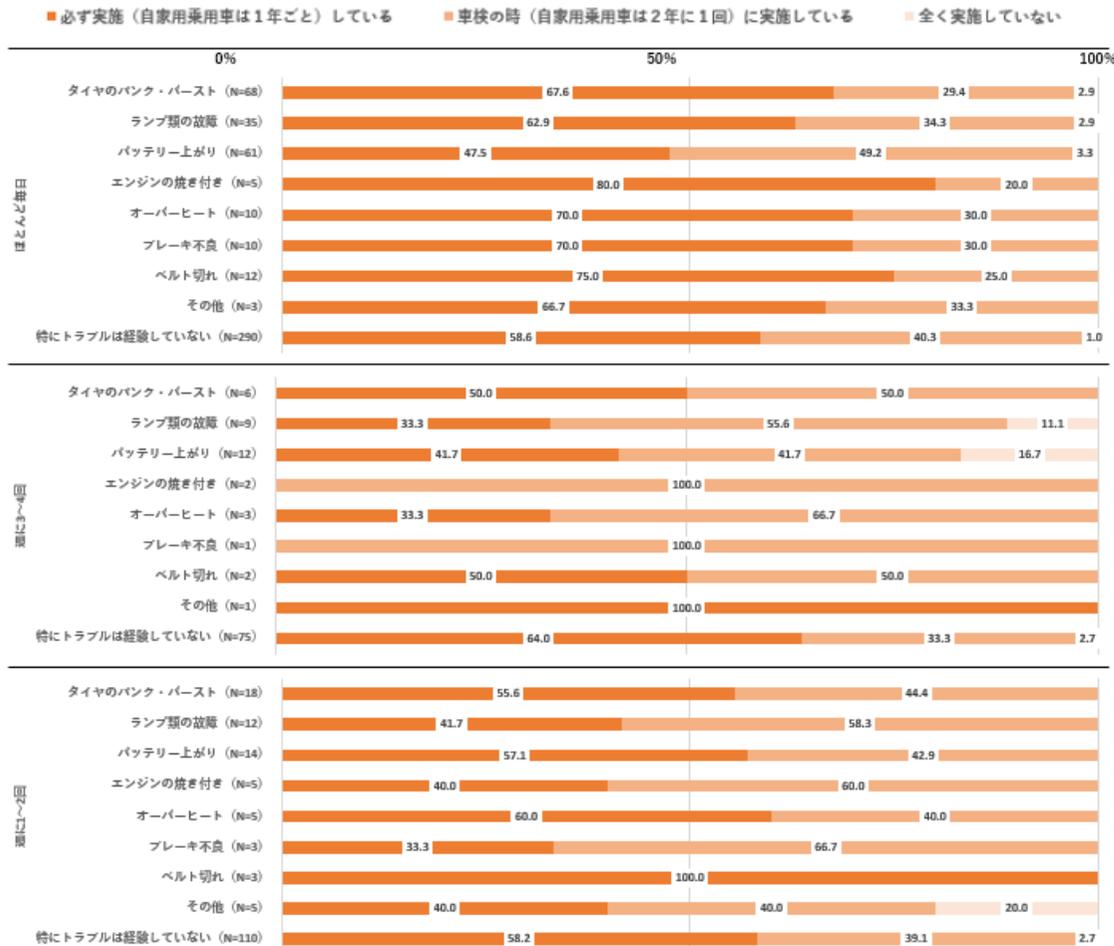
**2022年調査**



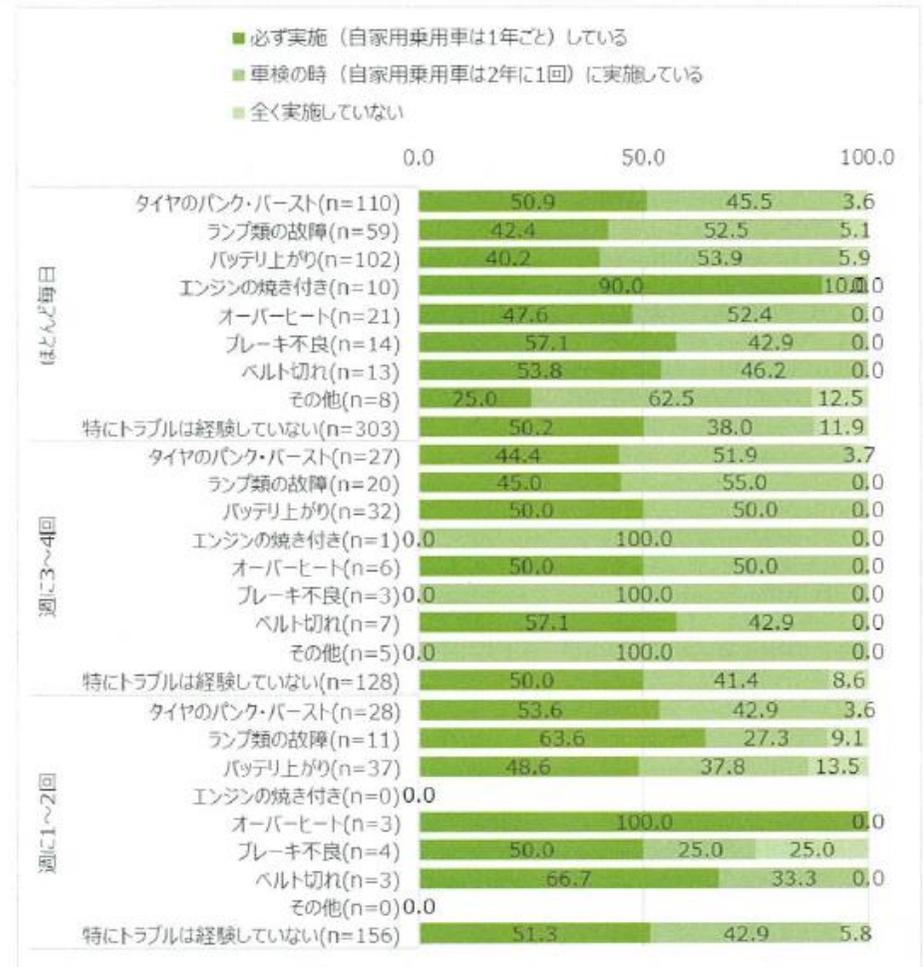
ポイント

「ほとんど毎日運転する人」で、「エンジン焼き付け」経験者は80.0%、「ベルト切れ」経験者では75.0%が「必ず実施」と回答。  
 「ほとんど毎日運転する人」で、「ランプ類の故障」経験者は35回答、「バッテリー上がり」経験者では61回答、  
 「タイヤのパンク・バースト」経験者は68回答と高い傾向にあった。  
 総じてトラブル経験者は定期点検整備実施率が高い。

2023年調査



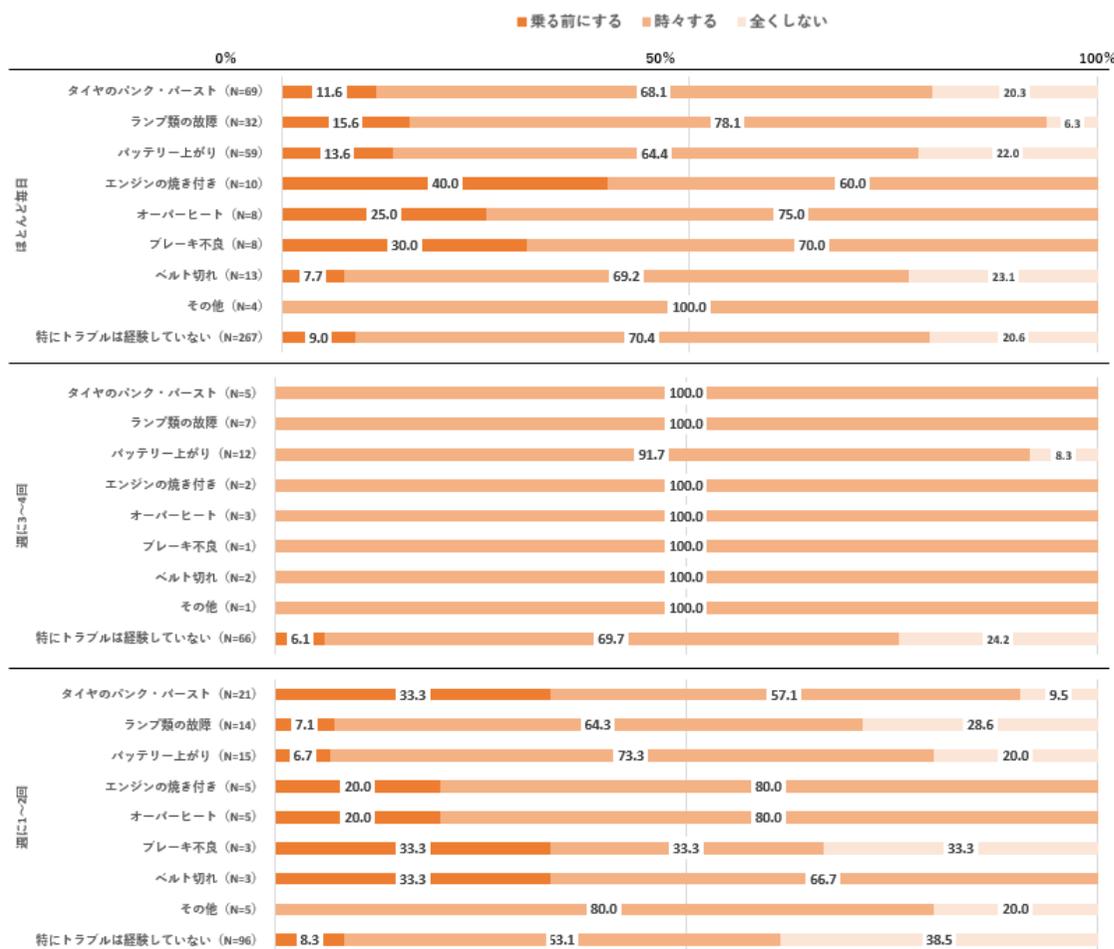
2022年調査



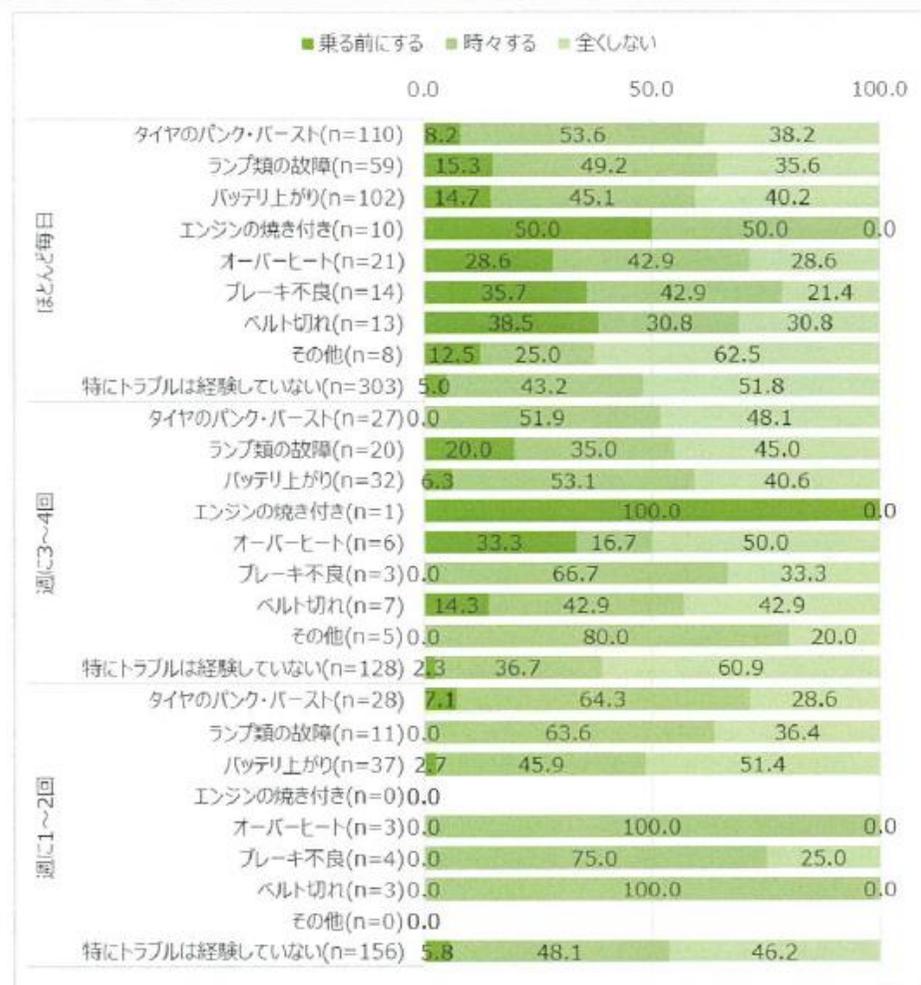
ポイント

「ほとんど毎日運転する人」で、「エンジン焼き付け」経験者は40.0%、「ブレーキ不良」経験者では30.0%が「必ず実施」と回答。  
 「ほとんど毎日運転する人」で、「ランプ類の故障」経験者は32回答、「バッテリー上がり」経験者では59回答、「タイヤのパンク・バースト」経験者は69回答と高い傾向にあった。  
 総じてトラブル経験者は日常点検整備実施率が少し低く出ているので、事故防止の啓発強化が必要と考えられる。

2023年調査



2022年調査



Q.あなたが現在保有している「自動車免許」を下記の中から全てお選びください。

※第一種・第二種・AT限定などの区分は全て含めてお答えください。  
 ※過去保有していて、現在は保有していないものは除いてお答えください。

事前調査

牽引	4:男性50-59歳
けん引を含む普通自動車以上の二種免許	4:男性50-59歳
船舶2級	2:男性30-39歳
けん引	3:男性40-49歳
大型二種、けん引	5:男性60-69歳
普通二種免許	4:男性50-59歳
大型二種 けん引	4:男性50-59歳

Q.あなたが、「日常点検」を実施しない理由を教えてください。

事前調査

社用車で、別に点検しているから。	1:男性18-29歳
家族が定期的にチェックしているから	9:女性50-59歳
親の車だから	6:女性18-29歳
チェックされないからまあいいかと思ってしまう部分がある	8:女性40-49歳
自分の車でないから	1:男性18-29歳
主人がしてくれるから(^o^)	10:女性60-69歳
スタンドでしてもらってる	4:男性50-59歳
家族が行うから	9:女性50-59歳

Q.あなたが、「定期点検整備」を必ずしも実施しない理由を教えてください。

事前調査

定期点検をやってくれる整備工場を知らない	2:男性30-39歳
今まで親がうけていた最近車を譲ってもらった	6:女性18-29歳
チェックされないから	8:女性40-49歳
実質、罰則がないから	4:男性50-59歳
いつしか忘れてしまう	6:女性18-29歳
自分の車でないから	1:男性18-29歳
いつも車検してる会社に知り合いがいて何かあればすぐ対応してくれるから	10:女性60-69歳
ディーラーまで行くのが面倒だと思ってしまう	6:女性18-29歳
距離がすくない	5:男性60-69歳
仕事柄判るから	4:男性50-59歳
半年に一回ディーラーで点検を受けているから	7:女性30-39歳

Q. 最近1年間に、車を運転していて、次のようなトラブルを経験したことがありますか。

事前調査

オイル漏れ	6:女性18-29歳
エアコン故障	2:男性30-39歳
エンジンルーム内の不具合	2:男性30-39歳
ワイパー不良	5:男性60-69歳
エアコン故障	7:女性30-39歳
ワイパーが動かなくなった	9:女性50-59歳
ドアミラーの故障	2:男性30-39歳
スピードセンサー故障	5:男性60-69歳
匂い	1:男性18-29歳
ワイパーが壊れる	5:男性60-69歳
右ドアを柱に擦り付けた	10:女性60-69歳
センサーの汚れによる、自動ブレーキや車線逸脱警告の不具合	7:女性30-39歳
アルミホイルの錆び	5:男性60-69歳
車体下からの異音がした。修理済	10:女性60-69歳
エアコンの故障	8:女性40-49歳
エンジンオイル切れ	9:女性50-59歳
スライドドアが開かなくなる	3:男性40-49歳
落下物の接触	4:男性50-59歳
電子キーが反応しない	5:男性60-69歳
アイドリングバッテリーの不具合	9:女性50-59歳
冷却水もれ	4:男性50-59歳
エンスト	4:男性50-59歳
ヒューズ切れ	5:男性60-69歳
エンジンコンピュータシステムの異常	5:男性60-69歳
エンジントラブル	9:女性50-59歳
冬に雪の塊がバンパーに挟まり、思ったより硬く ぐ外れなかった為に、一部破損しそうになった	10:女性60-69歳
エアコンのガス漏れ	4:男性50-59歳
ベルトの弛みで来れる前に異音で自分で気づいた。	5:男性60-69歳

Q. 定期点検が確実に実施されるためには、どのような対策が必要と考えますか。

事前調査

わからない	2:男性30-39歳
点検を無料にする	3:男性40-49歳
点検費用の安価	4:男性50-59歳
車検と同じ扱いにする	1:男性18-29歳
点検費用を車検時に徴収してしまっていて、支払い済みだから受け泣いた損にする	8:女性40-49歳
安くする	2:男性30-39歳
ピックアップの事例があることから、AIによる整備確認及び、完了確認を実施と第三者機関での確認が必要。付度をする人間がいる時点で「必ず」はありえない。ペナルティを死刑などにすれば行けそうだが、現実的ではない	3:男性40-49歳
費用を安くする	10:女性60-69歳
定期点検の価格の下がる	3:男性40-49歳
インセンティブを付与する	4:男性50-59歳
定期点検を受けた時に粗品等を渡す。	2:男性30-39歳
特になし	5:男性60-69歳
点検時の費用の軽減	4:男性50-59歳
行政機関からの通知	1:男性18-29歳
法定点検を無くし自己責任とする	5:男性60-69歳
費用	4:男性50-59歳
ナビゲーションシステムに連携して、対象月などに音声で案内されるような仕組み	2:男性30-39歳
定期点検にかかるコストを徹底的におさえる	3:男性40-49歳
定期点検費用を無料にする	7:女性30-39歳
点検した人には何かみんなが欲しくなるようなプレゼントを渡してくれる。 ガソリン20リットル無料券とか。	9:女性50-59歳
料金を格安にする	9:女性50-59歳
点検費用の補助	9:女性50-59歳
点検をちゃんとしていたら税金がやすくなったり年末調整で対象になったりしたらいいのでは。	8:女性40-49歳
値段を安くする	7:女性30-39歳
義務付けるなら車検間隔を短くする	3:男性40-49歳
定期点検を無料実施する。	2:男性30-39歳
整備内容が信用出来ない。過去の点検で見逃された箇所が複数、あるいは複数回あって全く信用出来ない。 ディーラー点検でさえこれだから他はもっと酷いと考えてます。	5:男性60-69歳

Q.あなたが現在保有している「自動車免許」を下記の中から全てお選びください。

※第一種・第二種・AT限定などの区分は全て含めてお答えください。

※過去保有していて、現在は保有していないものは除いてお答えください。

## 事後調査

8t限定	2: 男性30-39歳
フォークリフト	4: 男性50-59歳
大型特殊	4: 男性50-59歳
牽引	4: 男性50-59歳
二種	5: 男性60-69歳
フォークリフト	5: 男性60-69歳
けん引	5: 男性60-69歳

Q.『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』をする頻度はどのくらいですか。

## 事後調査

乗るたびに	2: 男性30-39歳
6か月に1回	2: 男性30-39歳
半年に1回	2: 男性30-39歳
3ヶ月に1回	2: 男性30-39歳
2か月に一回程度	3: 男性40-49歳
気が向いたら	3: 男性40-49歳
2、3ヶ月に1回	4: 男性50-59歳
2?3ヶ月に1?2回	4: 男性50-59歳
何となく気になった時	6: 女性18-29歳
気づいたとき	6: 女性18-29歳
点検のハガキが届いたら車屋さんで行う	7: 女性30-39歳
ほとんど運転しないので	7: 女性30-39歳
主に家族がしている	8: 女性40-49歳
気づいたときに	9: 女性50-59歳
半年に一度くらい	9: 女性50-59歳
2~3ヶ月に一回	9: 女性50-59歳
3ヶ月~半年に一度	9: 女性50-59歳
3ヶ月に一回	9: 女性50-59歳
2、3ヶ月に一回	10: 女性60-69歳
半年に一度	10: 女性60-69歳

Q. 『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』はどのような時に行っていますか。

## 事後調査

オイル交換時期等	2:男性30-39歳
オイル交換やタイヤローテーション時	3:男性40-49歳
休みの日	3:男性40-49歳
土日の週末	4:男性50-59歳
気がついた時	5:男性60-69歳
時間にゆとりがある時	6:女性18-29歳
思いついたら	6:女性18-29歳
ディーラー	7:女性30-39歳
ランプが付いた時	8:女性40-49歳
気まぐれに	8:女性40-49歳
家族が点検している	8:女性40-49歳
仕事が休みで予定も無い時	9:女性50-59歳
タイヤの空気圧	10:女性60-69歳
スーパーやホームセンター等外出先	10:女性60-69歳

Q. あなたが自分自身でやっている『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』をお答えください。

## 事後調査

警音器	4:男性50-59歳
ディーラー任せ	5:男性60-69歳
ハンドルの遊び	5:男性60-69歳
わからない	8:女性40-49歳
家族が点検している	8:女性40-49歳
スタンドの人任せ	9:女性50-59歳
大まかなところは、車屋さんに、任せてる	10:女性60-69歳

Q. あなたが、「日常点検」を実施しない理由を教えてください。

## 事後調査

会社の車だから	6:女性18-29歳
やらないと…と思っても急いでたりして忘れる	7:女性30-39歳
夫がするから	8:女性40-49歳
普段配偶者の通勤で使われているため	9:女性50-59歳

Q. あなたが、「定期点検整備」を必ずしも実施しない理由を教えてください。

事後調査

自分所有ではないから	1:男性18-29歳
なし	1:男性18-29歳
カーシェアを利用しているため	1:男性18-29歳
車検時に点検記録簿を作成しているから	3:男性40-49歳
オイル交換毎にリフトアップもしてもらって異常が無いか見て貰う	4:男性50-59歳
走行距離が少ないため	5:男性60-69歳
半年ごとに簡単な点検をディーラーで受けているから	6:女性18-29歳
会社の車だから	6:女性18-29歳
今年は1年点検に行けなかった	7:女性30-39歳
しなければならない意識がなかった	8:女性40-49歳
気になる所があればすぐにディーラーに行くから	9:女性50-59歳
家族に整備士がいてチェックして貰ってるから	9:女性50-59歳
整備士の友人が、何かあった時にはやってくれるから	9:女性50-59歳

Q. 「自動車点検整備推進運動」を何で知りましたか。

事後調査

ディーラー	2:男性30-39歳
ディーラー	2:男性30-39歳
整備工場	3:男性40-49歳
実際車を見てもらって知った	4:男性50-59歳
職場	4:男性50-59歳
ディーラー	4:男性50-59歳
自分が自動車整備士	4:男性50-59歳
職場	5:男性60-69歳
ディーラーから聞いた	5:男性60-69歳
会社	6:女性18-29歳
自動車会社からのメッセージ	7:女性30-39歳
家族がディーラー勤務	8:女性40-49歳
夫が自動車整備士	9:女性50-59歳
カーディーラーで働いているから職場で	9:女性50-59歳
お世話になっているモータース	10:女性60-69歳

Q.定期点検が確実に実施されるためには、どのような対策が必要と考えますか。

事後調査

国が点検代出す	1:男性18-29歳
なし	1:男性18-29歳
点検を難しいものだと考えないような取り組み	1:男性18-29歳
免許更新時に案内する	2:男性30-39歳
整備不良による事故発生については罪が重くなるなどあってもいいと思う	2:男性30-39歳
分からない	2:男性30-39歳
無料点検である事	2:男性30-39歳
義務	2:男性30-39歳
定期点検費用を下げる	2:男性30-39歳
ガソリンスタンドでの啓蒙	3:男性40-49歳
費用を下げる	3:男性40-49歳
車からのメール発信ができるようなスマートシステムの構築	4:男性50-59歳
点検を受けなかったら免許取り消し	4:男性50-59歳
車検と同じ必須にする	4:男性50-59歳
整備工場の信用度を上げる、もしくは担保するような制度を制定する。	4:男性50-59歳
点検にかかる費用を安価にする。	4:男性50-59歳
車検で経費が掛かるので、点検は五千円程にするなど。	5:男性60-69歳
乗車時に点検時期が近づいたことを車に表示が出るようにする	5:男性60-69歳
費用が高くならないような制度が必要	5:男性60-69歳
cmや報道で広く伝える	7:女性30-39歳
有料化にされると遠のくよ	9:女性50-59歳
点検を無料にする	9:女性50-59歳
定着するまでポイントをつけるなど点検のハードルを下げる	9:女性50-59歳
無料にする	9:女性50-59歳
高齢者にガソリンを入れる時声掛け	9:女性50-59歳
点検を受けている車は税金が安くなる	10:女性60-69歳
無料にする。	10:女性60-69歳
TV ラジオ SNS	10:女性60-69歳

Q. 最近1年間に、車を運転していて、次のようなトラブルを経験したことがありますか。

事後調査

カーナビの故障 フロントガラスの損傷	1:男性18-29歳
エンジン不調	2:男性30-39歳
エンジンオイルランプの点灯	2:男性30-39歳
冷却水漏れ	2:男性30-39歳
ナビの電源が入らない	3:男性40-49歳
飛び石	3:男性40-49歳
エアフローメーターの異常	5:男性60-69歳
フロントガラスの汚れ、反射による視界不良	6:女性18-29歳
ベアリングの不具合	7:女性30-39歳
高速を運転中、石が飛んできてフロントガラスが割れた	8:女性40-49歳
空気圧無し、バックするとパコンって音がする	9:女性50-59歳
ガソリン漏れで車が急に止まった。	9:女性50-59歳

Q.定期点検が確実に実施されるためには、どのような対策が必要と考えますか。

事後調査

国が点検代出す	1:男性18-29歳
なし	1:男性18-29歳
点検を難しいものだと考えないような取り組み	1:男性18-29歳
免許更新時に案内する	2:男性30-39歳
整備不良による事故発生については罪が重くなるなどあってもいいと思う	2:男性30-39歳
分からない	2:男性30-39歳
無料点検である事	2:男性30-39歳
義務	2:男性30-39歳
定期点検費用を下げる	2:男性30-39歳
ガソリンスタンドでの啓蒙	3:男性40-49歳
費用を下げる	3:男性40-49歳
車からのメール発信ができるようなスマートシステムの構築	4:男性50-59歳
点検を受けなかったら免許取り消し	4:男性50-59歳
車検と同じ必須にする	4:男性50-59歳
整備工場の信用度を上げる、もしくは担保するような制度を制定する。	4:男性50-59歳
点検にかかる費用を安価にする。	4:男性50-59歳
車検で経費が掛かるので、点検は五千円程にするなど。	5:男性60-69歳
乗車時に点検時期が近づいたことを車に表示が出るようにする	5:男性60-69歳
費用が高くないような制度が必要	5:男性60-69歳
cmや報道で広く伝える	7:女性30-39歳
有料化にされると遠のくよ	9:女性50-59歳
点検を無料にする	9:女性50-59歳
定着するまでポイントをつけるなど点検のハードルを下げる	9:女性50-59歳
無料にする	9:女性50-59歳
高齢者にガソリンを入れる時声掛け	9:女性50-59歳
点検を受けている車は税金が安くなる	10:女性60-69歳
無料にする。	10:女性60-69歳
TV ラジオ SNS	10:女性60-69歳

Q.最近1年間に、車を運転していて、次のようなトラブルを経験したことがありますか。

事後調査

カーナビの故障 フロントガラスの損傷	1:男性18-29歳
エンジン不調	2:男性30-39歳
エンジンオイルランプの点灯	2:男性30-39歳
冷却水漏れ	2:男性30-39歳
ナビの電源が入らない	3:男性40-49歳
飛び石	3:男性40-49歳
エアフローメーターの異常	5:男性60-69歳
フロントガラスの汚れ、反射による視界不良	6:女性18-29歳
ベアリングの不具合	7:女性30-39歳
高速を運転中、石が飛んできてフロントガラスが割れた	8:女性40-49歳
空気圧無し、バックするとパコンって音がする	9:女性50-59歳
ガソリン漏れで車が急に止まった。	9:女性50-59歳

Q.あなたは先ほどの点検整備についてのコンテンツをどこから知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。

事後調査

陸運局	3:男性40-49歳
ガソリンスタンド	4:男性50-59歳
車の点検をしている所	5:男性60-69歳
会社	6:女性18-29歳
会社	8:女性40-49歳
整備工場のオーナー	10:女性60-69歳

事前調査

- ・別紙「FA一覧\_【事前調査】アハ点検キャンペーン調査」
- ・別紙「GT集計\_【事前調査】アハ点検キャンペーン調査」
- ・別紙「クロス集計\_【事前調査】アハ点検キャンペーン調査」

事後調査

- ・別紙「FA一覧\_【事後調査】アハ点検キャンペーン調査」
- ・別紙「GT集計\_【事後調査】アハ点検キャンペーン調査」
- ・別紙「クロス集計\_【事後調査】アハ点検キャンペーン調査」

その他

- ・別紙「GT集計【事前事後比較】アハ点検キャンペーン調査」
- ・別紙「GT集計【事前事後比較】アハ点検キャンペーン調査」

## 4 調査結果サマリー

結果と考察

- ① 法律の認知状況は、過去同様高くあるが減少傾向にあるため、**法律としての啓発を強化**する必要がある
- ② **日常点検の実施状況は、大幅な増加**ができたため、次年度以降も更なる啓発を継続する
- ③ 定期点検の実施状況は、**実施率の増加及び非実施の減少**ができたが、**一部項目で増加**がみられるため、**該当項目別の啓発強化が次年度以降の課題**となる

## 法律の認知状況は63.6%~80.5%程度で、過去調査とほぼ同様のスコアで、認知率は高いが、減少傾向にある

- ・「法律で点検・整備による適正な状態の保持が義務付けられている」ことの認知は80.5%が「知っていた」と回答。昨年度より4.8%微減。
- ・「日常点検整備の実施が義務付けられている」ことを「知っていた」と回答したのは63.6%。昨年度より7.8%減少傾向。
- ・「定期点検整備の実施が義務付けられている」ことを「知っていた」と回答したのは67.3%。昨年度より8.6%減少傾向。

## 「日常点検」の実施状況については、計77.3%と、過去調査に比べて、大幅な実施率の増加ができた

- ・「日常点検」実施の有無に関しては「乗る前にする」が9.5%。「時々する」（67.7%）と合わせた「実施する計」で77.3%。前回、前々回調査より大幅に増加している。
- ・「日常点検」頻度に関しては、「1~3日に1回」（9.9%）、「1週間に1回」（26.1%）、「10日に1回」（6.2%）となっており、前回、前々回調査より大幅に増加している。事後調査のみとなるので、啓発活動が起因した可能性が考えられる。
- ・Q6の「あなたが自分自身でやっている『日常点検（日頃、ご自分で車を点検）』をお答えください。」については、全ての項目において大幅な増加をしている。

## 「定期点検」の実施状況については、1年ごとに実施が58.8%と、過去調査に比べて、大幅な実施率の増加ができた

- ・「必ず実施（自家用車は1年ごと）している」の比率が最も高く58.8%となり、前年に比べ12.1%増加となる。「車検の時（自家用車は2年に1回）に実施している」（38.6%）となり、必ず実施増加に伴い減少した。
- ・「全く実施していない」は例年一番低くなり、2.7%。前年に比べ、6.3%減少し、啓発活動の効果が出ていると考えられる。
- ・「車検をうけているから」（44.1%）。「時間がないから」（20.9%）と増加になり、定期点検の項目別啓発が必要と考えられる。

結果と考察

- ① 日常点検の実施を更に上げるため、「面倒だから」という点を払拭する必要がある
- ② 定期点検の実施を更に上げるため、「車検」との差別化認知と、「手間」の払拭をする必要がある  
有効な手段として、イベント・点検教室の増加推進及び利用コンテンツの拡充が考えられる
- ③ OBD点検の認知状況が低いため、②と合わせて啓発を強化する必要がある

「日常点検整備」をしない理由は、前年に比べ全体に減少傾向にあるものの、増加要素も見られる

- ・前年・前々年の結果に比べ「知識がないから」が45.5%となり、前年に比べ12.1%減少した。
- ・前年・前々年の結果に比べ「面倒だから」が35.9%となり、前年に比べ7.2%増加している。

「定期点検整備」をしない理由は、前年に比べ全体に減少傾向にあるものと、増加傾向にあるものが分かれた

- ・「日常点検点検をしっかりしているから」が18.4%となり、前年に比べ13%増加している。  
日常点検の実施啓蒙ができた反面、定期点検の実施に関する違いの啓発が課題であると考えられる。
- ・「車検をうけているから」（44.1%）。「時間がないから」（20.9%）と増加になり、定期点検の差別化啓発が必要と考えられる。

「定期点検整備」の実施に必要な対策は「気軽に参加できるイベント、点検教室の開催」が20.2%と5.4%増加した

「OBD点検」の認知状況については14.7%となり、まだ低い認知となる

- ・「OBD点検」の認知度は14.7%となった。前年に比較がないため推移の分析ができないが、定期点検の調査に関わるデータから見ると、合わせて啓発の強化が必要であると考えられる。

結果と考察

- ① 「自動車点検整備推進運動」の認知率は増加しており、過去2年の最高認知率となる
- ② 認知率の日常点検に与える影響は大きいため、継続した実施をしていく必要がある
- ③ アハ点検動画や点検関連のコンテンツが、日常点検推進に大きく起因した
- ④ 新キャラクターの認知が低いため、次年度以降キャラクター性を出す施策が必要である

### 「自動車点検整備推進運動」の認知率は、前回より微増し認知計で4.6%の増加となる

- ・「自動車点検整備推進運動」の認知率は、前回より微増であり「知っていた」（9.6%）で、1.6%増加傾向。「詳しくは知らないが、聞いたことはあった」（20.5%）の認知計で30.1%で、前年に比べ4.6%増加となった。
- ・認知経路については今回TVCMは行っていないもののYouTubeのオンデマンドテレビ配信を行ったため22%となった。「インターネットを利用」と合算すると39.4%となり、ネット動画での経路が多いと考えられる。

### 「自動車点検整備推進運動」の認知層の、日常点検実施頻度「乗る前にする」は30.1%と増加。「全くしない」も16.4%減少

- ・『自動車点検整備推進運動』を「知っていた」と回答した層は、日常点検を「乗る前にする」と回答した割合が高く30.1%。前年に比べ、3.0%増加した。全体としても「全くしない」が31.3%と、前年に比べ16.4%の減少となる。

### 「コンテンツ」による意識変化は、点検整備を楽しく取り上げた「アハ点検動画 / YouTube版」と点検関連が大きく起因

- ・「点検の必要性について、一番大きく起因したコンテンツは「アハ点検動画 / YouTube版」（19.1%）となる。次いで、点検チェックシートが16.5%。点検チェックコンテンツはキャンペーン連動と総計し15.7%となり、特設サイトも15.7%。
- ・「コンテンツに関する印象調査においては、「点検の重要性を理解することができた」が35.7%と高く、「内容が分かりやすかった」が28.7%となり、日常点検に関する啓発と、難しい内容を分かりやすく伝えるという施策のコンセプトを実現できたと考えられる。加えて、「遊び感覚で・・・」（11.3%）と「内容が面白かった」（13.0%）となる。

### 新キャラクター「カー坊」の認知状況については1.1%となり、まだ低い認知となる

結果と考察

- ① トラブル経験は全項目減少傾向で、**経験なしが過去最高数値**となる
- ② **トラブル経験と「日常点検」の関係性が低く**であり、**事故リスクの啓発強化**が必要である
- ③ トラブル経験と「定期点検」の関係性は高くであり、**事故リスク項目別の更なる強化**を目指す

### 最近1年間に起きた、運転中のトラブルを経験については、全項目減少し、経験なしが70.3%と過去最高となる

- ・「特にトラブルは経験していない」（70.3%）が過去調査も含めてトップ。前年に比べ4.7%増加している。他数値についても、前年と比べ減少傾向にあり、啓発活動がトラブル防止に起因していることが伺える。

### 最近1年間に起きた、運転中のトラブルを経験と「日常点検」の実施率は低い関係性であり、事故リスクの啓発が必要である

- ・「ほとんど毎日運転する人」で、「エンジン焼き付け」経験者は40.0%、「ブレーキ不良」経験者では30.0%が「必ず実施」と回答。「ほとんど毎日運転する人」で、「ランプ類の故障」経験者は32回答、「バッテリー上がり」経験者では59回答、「タイヤのパンク・バースト」経験者は69回答と高い傾向にあった。総じてトラブル経験者は日常点検整備実施率が少し低く出ているので、事故防止の啓発強化が必要と考えられる。

### 最近1年間に起きた、運転中のトラブルを経験と「定期点検」の実施率は高い関係性であり、多い回答を元に更なる啓発が必要

- ・「ほとんど毎日運転する人」で、「エンジン焼き付け」経験者は80.0%、「ベルト切れ」経験者では75.0%が「必ず実施」と回答。「ほとんど毎日運転する人」で、「ランプ類の故障」経験者は35回答、「バッテリー上がり」経験者では61回答、「タイヤのパンク・バースト」経験者は68回答と高い傾向にあった。総じてトラブル経験者は定期点検整備実施率が高い。



株式会社ADKクリエイティブ・ワン